

2025 年度

お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

Guidelines for Application to the 2025  
Master's Program  
Graduate School of Humanities and Sciences  
Ochanomizu University

## 学 生 募 集 要 項

[一 般 入 試]

[社 会 人 特 別 入 試]

[推 薦 入 試]

[外 国 人 留 学 生 入 試]

〔注〕生活工学共同専攻学生募集要項は別冊子です。



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

☎ 03(5978)5697

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※試験期日は社会情勢により、急きょ変更になる可能性があります。変更があった場合は、あらためて通知します。随時、ホームページで最新情報を確認してください。

(注) お茶の水女子大学卒業見込み学生のみを対象とする特別入試・選抜(※1, 2)を希望する者は、  
「学士・修士一貫教育トラック特別選抜 内部推薦特別入試 学生募集要項」を参照すること。

(※1) 学士・修士一貫教育トラック特別選抜

(※2) 内部推薦特別入試

## 目 次

I.	人間文化創成科学研究科（博士前期課程）の目的・修了要件及び 各専攻・コースの概要・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II.	入試要項	
1.	実施専攻・コース及び募集人員	7
2.	試験期日・出願期間・合格発表日等	8
	(1) 出願方法	
	(2) 選考方法	
	(3) 合格発表等について	
	(4) 納入金（入学料及び授業料）	
	(5) 入学手続について	
	(6) 長期履修学生制度について	
	(7) 奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等	
3.	出願資格	10
	(1) 資格審査出願について	
	(2) 受験上・修学上の配慮の事前相談について	
4.	個人情報及び試験成績の利用について	12
5.	学生募集及び入学試験に関する問い合わせ先	12
III.	一般入試	13
IV.	社会人特別入試	26
V.	推薦入試	32
VI.	外国人留学生入試	37
	Entrance Examination for International Students	52
VII.	担当教員及び主な授業科目	73
	「お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内」	77

### 本学所定用紙（出願書類） Prescribed form

- ・ 入学願書・写真票・受験票 [全入試共通]  
 (Application Form/Photo Ticket/Examination Admission Ticket)
- ・ 検定料納入確認書[全入試共通]
- ・ 履歴事項 [全入試共通] (Background)
- ・ 研究報告書 [全入試共通] (Research Report)
- ・ 研究計画書 [全入試共通] (Research Plan)
- ・ 志望理由書 [社会人特別入試用]
- ・ 職務内容報告書 [社会人特別入試用]
- ・ 日本語教育経歴 [社会人特別入試用]
- ・ 推薦書（推薦入試用）

# I. 人間文化創成科学研究科（博士前期課程）の目的・修了要件及び各専攻・コースの概要・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

※生活工学共同専攻の目的・修了要件及び概要・入学者受入方針については、生活工学共同専攻学生募集要項を参照してください。

## 【目的】

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

## 【修了要件】

1. 博士前期課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、本学大学院の行う修士論文の審査又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、優れた研究業績を上げたと認められた者の在学期間に関しては、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
2. 前項の場合において、博士前期課程の目的に応じて適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。

## 【進学】

本学大学院の博士前期課程を修了した者は、選考の上、博士後期課程に進学することができる。

## ○ 取得できる学位

専攻	学位	学位に付記する専攻分野の名称
比較社会文化学専攻	修士	人文科学・社会科学・生活科学・学術
人間発達科学専攻		人文科学・社会科学・生活科学・学術
ジェンダー社会科学専攻		人文科学・社会科学・生活科学・学術
ライフサイエンス専攻		生活科学・理学・学術
理学専攻		理学・学術

## 【単位互換】

本学の大学院と単位互換協定を締結している大学の大学院は、次のとおりである。

協定先		本学前期課程	協定先		本学前期課程
総合研究大学院大学	先端芸術院	全専攻	東京都立大学	理工学研究科（生命科学専攻）	比較社会文化学専攻 ライフサイエンス専攻 理学専攻
筑波大学	システム情報工学研究科	全専攻	学習院大学	自然科学研究科	全専攻
東京医科歯科大学	医歯学総合研究科	全専攻	北里大学	薬学研究科	全専攻
東京外国語大学	総合国際学研究科	全専攻	慶應義塾大学	メディアデザイン研究科	全専攻
東京海洋大学	海洋科学技術研究科	全専攻	芝浦工業大学	理工学研究科	ライフサイエンス専攻 理学専攻 生活工学共同専攻
東京藝術大学	音楽研究科	全専攻			
東京工業大学	理学院、工学院、物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院、環境・社会理工学院	全専攻	情報セキュリティ大学院大学	情報セキュリティ研究科	全専攻
東京大学	人文社会系研究科（アジア文化研究専攻 中国語中国文学専門分野）	比較社会文化学専攻	中央大学	理工学研究科	全専攻
	教育学研究科	人間発達科学専攻 ジェンダー社会科学専攻	東京女子医科大学	医学研究科	全専攻
	理学系研究科、数理科学研究科、情報理工学系研究科	全専攻	日本女子大学	家政学研究科、文学研究科、理学研究科、人間社会研究科、人間生活学研究科	全専攻
	総合文化研究科（広域科学専攻 相関基礎科学系）	理学専攻	早稲田大学	先進理工学研究科	ライフサイエンス専攻 理学専攻
奈良女子大学	人間文化総合科学研究科	全専攻			

## 【専攻・コースの概要及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度な専門性を要する職業等に必要高度の能力を養うことを目的とする。

### ◎ 比較社会文化学専攻

社会と文化に関する専門研究を真に高いレベルで構築することを目指す本専攻は、個々の分野における専門研究を展開する基礎となる十分な知識と学力をもち、さらに、学際的な研究視野を得るために必要な幅広い教養を具えた学生を求めている。

言語文化分野の4コース（日本語日本文学コース、アジア言語文化学コース、英語圏・仏語圏言語文化学コース、日本語教育コース）では、人間の基本的営為の一つである言語活動とそれに基づいて営まれている様々な文化現象について、高度で総合的な研究を行う。

人文学分野の5コース（思想文化学コース、歴史文化学コース、生活文化学コース、舞踊・表現行動学コース、音楽表現学コース）では、思想、歴史、生活の各側面とともに、身体活動を中核とした芸術系の分野を加え、専門的であると同時に学際的な視点から、人間の文化活動を通時的かつ共時的に幅広くとりあげ、総合的に探究することを目指す。

#### ○ 【日本語日本文学コース】

多様な方法論に基づいて、各時代・分野ごとに日本文学及び日本語について深く研究し、日本文化の精髓にせまる。本コースでは次の4点を備えた学生を受け入れる。

- 1 日本古典文学から日本近現代文学及び日本語学に関して、幅広い知見を有すること。
- 2 研究対象に対する専門的な知識を有し、かつ深い問題意識を持つこと。
- 3 一定の外国語（留学生は研究に必要な日本語）の読み書き能力を有すること。
- 4 十分なコミュニケーション能力を有し、学問の社会還元に向きなこと。

#### ○ 【アジア言語文化学コース】

中国大陸、台湾、香港、東南アジアなど、中国語圏における言語と文学を主要な研究対象とする。中国古典の伝播と受容といった比較文化論的研究や、中国語と他言語の対照研究も行う。

中国語学や中国文学の研究者を目指す人、中国語教師、国語教師としてのスキルアップを目指す人を歓迎する。

本コースは専門（中国古典語学、現代語学、古典文学、近現代文学）に関する知見、中国語の読解力・口頭能力、および具体的な研究計画を有する学生を受け入れる。

#### ○ 【英語圏・仏語圏言語文化学コース】

英語圏言語文化専修と仏語圏言語文化専修に分かれるが、必要に応じ、各言語圏のあいだの交流や比較対照の視点も採り入れて研究を行う。研究分野は文学系と語学系に大別され、文学系では、各言語圏の文学と文化を研究対象とする。語学系では、英語学、仏語学、ならびに英語学を基礎とした英語教育の研究を行う。

実際の選抜方法においては、特に以下の3点を評価の基準としている。即ち、自分の専門分野の言語と、更にそれとは異なる外国語とを確実に習得していること（英語、フランス語、ドイツ語、中国語から選択）、専門分野の基礎的な知識を十分に有していること、独創的な研究論文を書く能力が認められるということ、という3点である。

#### ○ 【日本語教育コース】

国内外における日本語教育への多様なニーズに対応できる高度な専門性と研究能力をもった人材の養成と現職日本語教員の再教育を行う。

日本語教育学及びその周辺諸領域における基本的な知識と、これらの領域において2年間で修士論文としてまとめられるような具体的な研究計画をもっているかどうかを専門試験と口述試験で判定する。

#### ○ 【思想文化学コース】

本コースは哲学と倫理学より成る。スタッフの専門も、前者に対応する、西洋（主に英米・独）の哲学・思想及びその伝統や方法を受け継ぐ現在の哲学研究と、後者に対応する、倫理と心理と宗教の接点を探るといった問題関心による、西洋と日本の倫理思想の研究に分けられている。哲学で扱われる問題は、人間存在の基底や人間観、知識や言語のあり方やたらしき、文化や社会における価値や理想に関わり、われわれ自身の持っている世界観・価値観の基礎を再検討する契機となるものである。

倫理学では、厳密な原典研究の手法によって、人間のあり方を人間の内面、人と人との関係、超越的次元との関わりにおいて考察する。そのことは、私たち自身のあり方を問い直すことにもつながるはずである。

本コースの志望者は、本コースのこのような研究領域・姿勢を理解し、研究に関係するテキストや資料を理解し、共感するための基礎的な教養に加え、客観的・論理的な分析や議論を尊重し、また自身の研究の現代における位置付けや意義を考えられる視野と、問題を主体的に追求する積極性を求めたい。

### ○ 【歴史文化学コース】

歴史学の視点から、日本、ヨーロッパ、アジアにおける政治経済と社会文化の諸問題を、文字資料を始めとする多様な歴史資料を多角的に用いて研究し、また美術史学の視点から、視覚文化の実証的、批判的な分析・研究に取り組む。筆記試験では、資料や研究文献を読解するために必要な語学力と専門分野（日本史、アジア史、西洋史、美術史に区分）の研究をするうえで基本となる知識を測る。

口述試験では、卒業論文（又はそれにかわる研究成果）と研究計画を中心に、資料の分析能力や論理構成力を測る。将来、研究を仕事としていきたいという人とともに、前期課程で習得した能力や知見を社会の場で発揮したいという人の双方を歓迎する。

### ○ 【生活文化学コース】

服飾・工芸・住居など生活造形を中心とした生活文化の諸事象を対象とし、文化史・社会史・比較文化論・民俗学などの多様な視座のもとで新しい学際研究を試みるコースである。特に、日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を明らかにする研究、工芸・デザインなどを中心とした生活文化を比較文化論の立場から総合的に論じる研究、および代々受け継がれてきた生活文化を民俗学・文化人類学の立場から論じる研究が中心である。

生活文化に関する幅広い教養と視野、および研究対象についての専門的知識と独創的な分析力を持ち、生活文化論を人間理解の途として日本の内外に発信する意思のある学生を求める。

### ○ 【舞踊・表現行動学コース】

舞踊・スポーツなどの身体表現運動について、芸術学、民族学、教育学、身体運動科学などの分野から学際的に教育・研究を行なう。特に舞踊教育、舞踊芸術、民族舞踊、体育科教育、動作学、スポーツマネジメントといった研究領域が中心である。舞踊やスポーツの実践をふまえ、理論的、科学的知見を十分に修得した専門の人材（研究者、体育教師、指導者、上演者など）の育成を目指す。

本コースを志望するものは、舞踊やスポーツの実践経験を有することが望ましく、修士論文作成のために十分な外国語の能力と専門知識が求められる。

### ○ 【音楽表現学コース】

音楽を文化表象として、理論と実践の双方から研究する。理論面では、日本を含めた世界の諸文化と音楽との関連を扱う音楽学研究、実践面では、西洋近代の鍵盤音楽と声楽を主要な対象として、身体行動による表現技術の研究を行ない、国際的に通用する研究者と演奏者を養成する。本コースでは、音楽学、声楽、ピアノいずれを専攻するにせよ、水準の高い修士論文が要求されるので、十分な外国語（特に英語）の力と専門知識とが必要である。また、大学院は研究の場であるので、自ら思考し実践する積極的姿勢を備えていることが求められる。

## ◎ 人間発達科学専攻

社会的かつ個人的存在としての人間とその発達過程を対象に、教育科学、心理学、社会学等をベースとして、学際的にアプローチする。また、社会的・心理的諸病理の解決を目指した実践的課題意識に基づいて、社会－人間－発達を総合的・有機的に結びつける理論と、経験科学的方法論を探究する。

### ○ 【教育科学コース】

人間の生涯にわたる発達の過程を多様な方法論により科学的に探究するとともに、諸教育問題の解決に資する実践的な研究を行う。基礎科学・方法論として、教育思想、教育史、教育社会学を置き、またマクロ・ミクロの実践科学として教育課程論、教育方法論、教育開発論、教育心理学、特別支援教育論を設置する。

当コースでは、人間の発達について教育科学的に考えることのできる研究者および研究者的な視点をもつ実践者の育成をめざしている。第1次選考では、専門試験（英語読解を含む）によって、教育学の基礎的能力を確認する。第2次選考（口述試験）では卒業論文を含む出願書類を参照しながら、研究報告書、研究計画などを評価する。なお、卒業論文を重要な合否判定の資料とする。合否は第1次選考、第2次選考、卒業論文を総合的に判断する。卒業論文又は研究成果がわかるものがない場合には、第1次選考、第2次選考の結果により合否を判断する。本コースは、人間の発達に深い関心を持ち、自身の専門とする領域の研究方法に通暁した学生の入学を希望する。

### ○ 【心理学コース】

心理学コースでは、人間の心理を、脳を核として、発達という時間軸、社会という空間軸の中で、多次的・総合的に検討し理解する。

そのために次のような授業科目を設けている。「発達心理学特論」「認知科学基礎論」「社会心理学特論」「健康心理学特論」「教育心理学基礎論」。これらの授業科目における教育・研究を通して心理学領域の研究者を育成することが、本コースの目的である。

将来研究者や心理学の専門職を希望する学生を期待する。すでに心理学の基礎的な統計的手法や研究方法を習得していること、英文の学術論文の読解力を求める。広い分野への関心を期待しつつ、「発達心理学」「認知心理学」「社会心理学」「臨床心理学／健康心理学」「教育心理学」の分野のいずれかにおいて専門的な研究をすすめる意欲のある学生を求める。入学試験では、専門試験（英語読解を含む）によって、志望する分野において専門的な研究を進めるために必要な基礎的能力を確認する。

### ○ 【発達臨床心理学コース】

発達臨床心理学の教育及び研究を行う。臨床心理学を柱として、特に家庭、教育、医療、福祉、司法、産業等の場における心理臨床的、発達の問題について専門的に対処する力を養成するとともに、発達臨床心理学の研究を行う基礎的な研究能力を養う。

コースとしては、次のような学生に学んで欲しいと願っている。

- 1) 臨床心理士・公認心理師として将来臨床活動及び研究活動に携わりたい方
- 2) 臨床心理学の研究者として大学・研究機関で研究と教育・訓練に携わりたい方

そのため、入学の条件として、専門、外国語の力に加えて、志望目的、研究計画の明確さを求める。また、臨床実験の場としての心理臨床相談センターの活動に授業時間以外の時間を割ける方を求める。加えて、対人援助職に必要な基盤となる対人スキル、対人志向性をもっている人を求める。また、英語の心理学専門書・心理学学術論文を数多く読むことは、当コースの学習に必須である。

（補足）本コースのカリキュラムは臨床心理士・公認心理師の両方の受験資格取得要件に対応している。

### ○ 【応用社会学コース】

現代社会の諸問題（家族・地域、コミュニケーションの問題など）を社会的に研究する。

人間関係、職業集団、ネットワークを扱う「社会集団論」、逸脱、差別、コミュニケーションを扱う「社会意識論」、福祉政策、社会問題を扱う「社会福祉論」などを開講する。社会学の理論・研究法についての基礎的な知識を有し、社会学の諸分野（社会学理論もしくは家族・メディア・ジェンダー・福祉・社会意識・社会集団・社会階層等の社会学的研究）に関する具体的で発展性のある研究計画をもつ方の入学を期待する。前期課程修了後は、博士後期課程への進学と民間研究機関や公務員・一般企業への就職という2つの方向が考えられる。

試験科目は専門試験・口述試験であるが、専門試験において英語読解能力や日本語論述能力も測る。また合否の判定にあたっては、卒業論文も重要な判定の資料となる。卒業論文を執筆していない場合、卒業論文の分野が理系である場合、卒業論文が日本語と英語以外の言語で書かれている場合は、卒業論文と同等以上の水準の社会的な主題に関する日本語の論文を提出すること。社会的な主題に関する卒業論文を英語で執筆している場合に限り、その英語論文に日本語要約を添付して提出することを認める。

### ○ 【保育・児童学コース】

保育学・児童学領域の研究者、もしくは研究者的な視点を有する実践者として、家庭、保育・教育現場へ有効な支援をおこなえる人材、そのような支援のあり方を研究する人材を育成することを目的とする。保育学、児童学、発達心理学、社会学、教育学などをベースに、専門的力量と研究的資質の向上を図るための講義等を開講する。そして乳幼児期以降の保育・教育の研究、発達支援および子育て支援の研究、保育所・幼稚園・認定こども園等から小学校以上の学校教育を見通した連携の在り方や接続期における教育の研究等を行う。

本コースでは、学部からの進学者のみならず、子どもの教育・福祉に関する現職者、現場経験者等、また、幅広い経験を有した社会人を歓迎する。子どもをとりまく多様な実践的・理論的課題に対し、分析的・科学的にアプローチしようとする志願者を希望する。

入学試験では、専門試験・口述試験において英文読解及び、専門的・基礎的知識と科学的な論述や分析力を確認する。出願書類ならびに卒業論文も重要な判定の資料となる。卒業論文を執筆していない場合、また卒業論文の分野が著しく異なる等の場合には、研究成果を示した研究報告書の提出を求め、これについても審査の対象とする。

## ◎ ジェンダー社会科学専攻

ジェンダー社会科学専攻では、ひろく地理学・社会科学等の諸分野の分析手法とジェンダー視点を結びつけることにより、従来の「常識」を再検討し、新たな問題領域を発見する研究をめざしている。方法論的には、女性・生活・家族・社会・地域・都市・国家・環境等をめぐる現代的・具体的な諸課題に向き合うために、既存の個別領域のアプローチを尊重しつつ、ジェンダー視点と切り結んだ学際的アプローチに依拠することにより、21世紀社会を展望する新領域創成に挑戦する。

教育目標は、新領域開拓にふさわしい教養と学力を涵養し、現実的・具体的な諸課題の解決や男女共同参画社会の構築、社会政策の構想に寄与しうる人材、グローバル社会のもとで国際的な活動に貢献できる人材を養成することに主眼を置いている。本専攻のスタッフ構成は、地理学・人類学・地域研究・開発学・国際関係論・社会学・経済学・政治学・法学と多様であり、学生が研究テーマを多元的・複眼的・学際的に考察する上で必要な支援を提供する。また、学生は、自分の問題関心と方法論に即して3つの科目群（ジェンダー研究・専門・学際方法論）から様々なパターンで演習等を履修することが可能である。ジェンダー論、社会科学、地理学など本専攻に関する基本的な知識・思考力と、英語で書かれた文献を読み、英語で記述する力を持ち、新領域を切り拓く領域横断的な研究に意欲と関心のある志願者を歓迎する。

## ◎ ライフサイエンス専攻

本専攻は、基礎生命科学からバイオテクノロジーにわたるライフサイエンス全般の発展に寄与するため、「生命科学」、「生活科学」という学問領域の有機的な統合を試み、人間を生命、生活の両面から捉える。そのため、生命科学コース、食品栄養科学コース、遺伝カウンセリングコースを設置する。ライフサイエンス全般を基礎から応用まで幅広く理解できる人材を選抜する。本専攻の学生には教員の指導の下、実験・調査を主体とする、ライフサイエンスに関する研究計画を作成、実施することが求められる。そのため、データ調査分析能力、研究実施能力、研究の妥当性に対する判断力等が求められる。

### ○ 【生命科学コース】

本コースでは、多様な生物種を対象として、多様性と独自性を特徴とする生命の本質を、遺伝子、ゲノム、生体分子、細胞、個体、集団などのレベルにおいて理解するための教育と研究を目指している。研究を進めるためには、目の前にある生命科学の諸問題を解決するための能力もさることながら、「まだ分かっていないことは何か」「問題にどのように取り組んでいくのか」という、問題を発見し、その生命科学の現象を明らかにしていく道筋を具体化する能力が必要である。また、自分の興味以外にも視野を広げ、そこから自らの問題に関連のある知見を引き出す努力も必要とされる。本コースでは、生命科学分野の諸現象に対し、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心に溢れた人材を期待する。

### ○ 【食品栄養科学コース】

本コースでは、食と栄養に関する基礎研究から応用開発や臨床対応にいたる領域を対象とし、健全な食生活を構築するとともに、生活習慣病の予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目的としている。そのため食と栄養のスペシャリストを育て、食品企業の研究者や開発者、管理栄養士のリーダーを育成する。本コースでは食品の品質、嗜好性、機能、安全性、代謝、疾病との関連など食を取りまく諸問題を有機化学、生化学、分子・細胞生物学、疫学などの視点から、食品科学と栄養科学の両面から教育・研究を行なう。学生には研究・実験に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持つことを求める。化学や生物学を中心とする一般的な自然科学の知識を必要とする。

### ○ 【遺伝カウンセリングコース】

遺伝カウンセリング学は遺伝医学の発達に伴って誕生した学際的な学問で、人類遺伝学、遺伝医学、カウンセリング、生命倫理と幅広い領域と連携しながら独自の学問体系を構築している。遺伝カウンセリングは遺伝に関する課題を抱えた人達に対する心理社会的支援であるが、その支援には正確かつ最新の遺伝学的情報を提供することも含まれる。したがって、遺伝カウンセリング学分野における探究および遺伝カウンセリングの修得においては、単に遺伝学の知識を得ることに加えて、遺伝カウンセリングを実践するための技術や対人援助職としての態度面の修得も要求される。本コースでは遺伝カウンセラーに要求される遺伝カウンセリング学の基礎と実践技術および態度を学ぶと同時に、教育・研究者として必要な能力を身につけるための教育を行なう。なお、本コースで必要な単位を取得し修了することにより、日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会が共同で認定する認定遺伝カウンセラー認定試験の受験資格を得ることができる。

本コースの志願者には、臨床遺伝学を理解するための基本的な遺伝学的知識、コミュニケーション能力、対人援助職および教育者としての人格・態度、研究者としての探究心が求められる。また、遺伝カウンセリングに関連する情報の多くは英語で記述されているため、英語の能力も必須である。

## ◎ 理学専攻

理学専攻は、人間と自然が織りなす複雑な諸現象を、現代自然科学の方法論に基づいて学際融合的に教育研究し、新しい科学の創成を目指しつつ次世代を担う人材を養成することを目的としている。十分な基礎学力と緻密な思考力をもつと同時に、自然の論理の美しさに感動し、未知との遭遇に好奇心をそられるような感受性を有する多くの学生と共に科学を楽しみたい。

### ○ 【数学コース】

様々な分野との関連も視座に入れた数学理論の展開に関する高度な専門教育と研究を行い、高度な数学的知識と数学的な運用能力をもつ高度専門職業人、中学校・高等学校教師、研究者等を養成することを目標とする。この教育目標に沿って、未解決の問題にチャレンジしたい、数学の美しさ面白さに深く感動したい、数理的な方法センスを身につけ社会の場で生かしたい等数学が好きで学ぶ意欲に溢れ、数学分野に対する基礎的な学力を持つ学生を広く受け入れる方針である。

実際の選考では、微分積分学、線形代数学など、どの数学分野を専攻するにも必要となる内容や専攻したいと希望する数学分野の基礎について、基本的な概念や事実の理解度、基本的な計算を確実にできる力、明解正確な説明論証を行える力などをみる。

### ○ 【物理科学コース】

物質を構成する最も基本的な単位である素粒子から、多数の原子分子から構成される固体や液体、そして天文や宇宙までを対象に、物質が示す興味深く多彩な性質を解明すると同時に新たな現象を予測することを目的として、量子論、統計力学、相対論をはじめとする物理学の様々なアプローチを総合して教育研究に取り組んでいる。自然を深く考える好奇心に満ちた学生や、粘り強く物事を考え抜く忍耐強い学生、自然を直感的に発想することができる学生、或いは論理にこだわって緻密に推論する学生、など個性的で主体性を持ち、かつ学士課程で学んだ物理学の基礎知識を身につけた意欲的な学生を望む。

### ○ 【化学・生物化学コース】

有機・無機分子および金属錯体から、タンパク質や糖などの生体高分子に渡る広範な分子および分子集合体を対象とし、合成、構造、反応、物性、機能、および分子間相互作用に関して、幅広い角度から実験と理論の研究および教育を行う。分子科学的な研究を推進するために必要な知識を得ることや、生命の普遍的なしくみを化学的に解明することに興味を持ち、境界領域や未知の分野を切り拓くことに意欲的な学生を望む。

### ○ 【情報科学コース】

情報科学は進展の速い分野である。このような分野で世界の先端を走る研究者、高度専門職業人、情報科学の次世代を語る教育者等を養成するため、情報の基礎理論から応用技術まで幅広い分野の研究、教育を行う。この目標に沿って、情報科学、数理科学に対する基礎的な学力、英語で書かれた文献の読み書きができる素養を持ち、強い意欲を持つ者を広く受け入れる。

## II. 入試要項

### 1. 実施専攻・コース及び募集人員

○印：各入試を実施するコース

専攻	募集人員 (注1)	コース	一般入試			社会人 特別入試			推薦 入試	外国人留学生 入試		
			8 月 実 施	9 月 実 施	2 月 実 施	8 月 実 施	9 月 実 施	2 月 実 施	9 月 実 施	8 月 実 施	9 月 実 施	2 月 実 施
比較社会文化 学専攻	60名	日本語日本文学コース	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○
		アジア言語文化学コース ※1	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○
		英語圏・仏語圏言語文化学コース (英語圏言語文化専修)	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○
		英語圏・仏語圏言語文化学コース (仏語圏言語文化専修)	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○
		日本語教育コース ※1	—	—	○	—	—	○	—	—	—	○
		思想文化学コース	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○
		歴史文化学コース	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○
		生活文化学コース ※1	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○
		舞踊・表現行動学コース ※1	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○
音楽表現学コース ※1	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○		
人間発達科学 専攻	27名	教育科学コース ※1	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○
		心理学コース ※1	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○
		発達臨床心理学コース	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○
		応用社会学コース	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○
		保育・児童学コース	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
ジェンダー社会 科学専攻※1	18名		—	○	○	—	○	○	—	—	○	
ライフサイエ ンス 専攻	40名	生命科学コース ※1	●	—	○	—	—	—	—	●	—	○
		食品栄養科学コース	●	—	○	—	—	—	—	●	—	○
		遺伝カウンセリングコース	○	—	△ (注3)	—	—	—	—	○	—	△ (注3)
理学専攻	70名	数学コース ※1	●	—	○	●	—	○	—	●	—	○
		物理科学コース ※1	●	—	○	—	—	—	—	●	—	○
		化学・生物化学コース ※1	●	—	○	—	—	—	—	●	—	○
		情報科学コース ※1	●	—	○	●	—	○	—	●	—	○

(注1) 募集人員は、8月・9月・2月実施の全コース及び全入試を含めた人数である。

(注2) 一覧で●のついた次のコース・入試区分についてのみ、10月入学を希望できる。

ライフサイエンス専攻 生命科学コース、食品栄養科学コース

理学専攻 数学コース、物理科学コース、化学・生物化学コース、情報科学コース

ただし、10月入学の場合は、2024年度の専攻・コースに所属し、2024年度の授業科目を履修することになること、また、2024年度の専攻・コースの担当教員から志望教員を選ぶことになるので、注意すること。

10月入学を希望した場合、合格を許可された後で4月入学に変更はできないので、注意すること。

(注3) 「遺伝カウンセリングコース」の2月入試は、8月入試で定員が充足された場合、実施しない。

2月入試実施の有無は、11月29日(金)までに本学南門掲示板及びホームページ

(<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)上で通知する。

※1 本学卒業見込学生を対象とする学士・修士一貫教育トラック特別選抜又は内部推薦特別入試の実施専攻・コース。

希望者は「学士・修士一貫教育トラック特別選抜 内部推薦特別入試 学生募集要項」を参照してください。

※2 「生活工学共同専攻」の入試については、「生活工学共同専攻学生募集要項」を参照してください。

## 2. 試験期日・出願期間・合格発表日等

試験種別	試験期日（注1）	出願期間（注2）（注3）	合格発表日
一般入試	2024年 8月21日(水)8月22日(木)	2024年 7月16日(火)～7月18日(木)【必着】	2024年 8月30日(金)正午
	2024年 9月8日(日)9月9日(月)	2024年 7月22日(月)～7月24日(水)【必着】	2024年 9月13日(金)正午
	2025年 2月3日(月)2月4日(火)	2024年 12月16日(月)～12月18日(水)【必着】	2025年 2月10日(月)17時
社会人特別入試	2024年 8月21日(水)8月22日(木)	2024年 7月16日(火)～7月18日(木)【必着】	2024年 8月30日(金)正午
	2024年 9月8日(日)	2024年 7月22日(月)～7月24日(水)【必着】	2024年 9月13日(金)正午
	2025年 2月3日(月)2月4日(火)	2024年 12月16日(月)～12月18日(水)【必着】	2025年 2月10日(月)17時
推薦入試	2024年 9月8日(日)9月9日(月)	2024年 7月22日(月)～7月24日(水)【必着】	2024年 9月13日(金)正午
外国人留学生入試	2024年 8月21日(水)8月22日(木)	2024年 7月16日(火)～7月18日(木)【必着】	2024年 8月30日(金)正午
	2024年 9月8日(日)9月9日(月)	2024年 7月22日(月)～7月24日(水)【必着】	2024年 9月13日(金)正午
	2025年 2月3日(月)2月4日(火)	2024年 12月16日(月)～12月18日(水)【必着】	2025年 2月10日(月)17時

(注1) 専攻・コースによって試験日程（時間割）は異なる。詳細は、各入試毎の専攻別要項を確認すること。

(注2) 出願要件によっては、個別の資格審査出願期間がある。詳細は、p.10からの「出願資格」を確認すること。

(注3) 出願は、**出願期間最終日 17 時必着**とする。ただし最終日前日の日本国内の受付局消印のある物に限り、期間後に到着した場合でも受理する。

### (1) 出願方法

本学所定の封筒に出願書類を一括し、書留速達で郵送すること。**郵送以外は受け付けないので注意すること。**

郵送（提出）先 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学入試課

- ① 出願書類は、実施専攻・コース毎に異なる。各入試毎の専攻別要項を確認すること。
- ② 封筒の志望専攻欄に『志望専攻及び志望コース』を記入すること。
- ③ 受験票は、受験者心得・試験場所等の案内を同封のうえ、出願期間より約2週間後に郵送する。
- ④ 出願書類について、旧姓（名）の卒業証明書や成績証明書等を使用する場合は、改姓した旨（例：○年○月○日 婚姻により改姓）を証明書の余白に記載すること。
- ⑤ 出願書類について、日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、日本語訳を添付すること。
- ⑥ 提出された書類に不備がある場合には受理しない。記入漏れ等がないよう注意すること。また出願受理後は、いかなる事情があっても出願書類等の変更・返却には応じない。
- ⑦ 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合には、入学決定後でも入学許可を取り消すことがある。
- ⑧ 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。
  - ・ 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合
  - ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ、又は多く振り込んだ場合

検定料は出願者からの返還請求に基づき返還しますので、上記の返還事由に該当する場合には、2025年3月10日（月）までお茶の水女子大学入試課に連絡してください。（出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しません。）

## (2) 選考方法

筆記試験、口述試験、実技試験並びに成績証明書等の出願書類を総合して行う。詳細は、各入試毎の専攻別要項に記載。

## (3) 合格発表等について

「本学南門掲示板」に合格者の受験番号を掲示する。

合格者には、発表当日、宛名票（出願書類）の住所宛に合格通知書を郵送する。

また、入試ホームページ (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載する。

電話等による可否の問合せには、一切応じない。

## (4) 納入金（入学料及び授業料）

- ① 入学料 282,000円 (予定額)
- ② 授業料 半期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

入学時には、上記入学料、授業料のほか学生教育研究災害傷害保険料など若干の経費を要する。

(注) ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコースについては、認定遺伝カウンセラー資格取得にあたって、遺伝カウンセリング実習研修費が別途必要となります。

## (5) 入学手続について

### ① 2025年4月入学者

8月入試及び9月入試合格者については、入学手続関係案内を2025年2月中旬頃に郵送する。

ただし、遺伝カウンセリングコース合格者には、所定の期日までに入学確約書を提出した者のみに入学手続関係案内を送付する。なお、入学確約書は合格通知書とともに送付する。

2月入試合格者については、入学手続関係案内を合格通知と併せて郵送する。

### ② 2024年10月入学者

入学手続関係案内を合格通知と併せて郵送する。

(注1) 入学手続後は、事情により入学を辞退した場合でも、入学料は返還されない。

(注2) 受験票は、入学手続の際にも必要となるので、紛失しないように注意すること。

(注3) 合格通知後、住所を変更した場合は必ず入試課へ届け出ること。

## (6) 長期履修学生制度について

職業を有する等の事情により、一般の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られ、標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、長期履修学生制度を導入しています。そうした事情にある者は、2年間で設定されている修業年限を3年間又は4年間で履修し、課程を修了することを認められることがあります。(全ての申請者が適用を受けられる訳ではなく、制度の趣旨に沿っているかを学内の委員会で審査し、適用の可否を決定します。)「職業を有する等」とは、有職者(正規雇用、臨時雇用(パートタイムなど正規に近い勤務時間の者)、自営業等)、家事、育児、介護、障がい等の事情にあることをいいます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、「定められた授業料の年額」に「標準修業年限」を乗じて得た額を「許可された修業年限」で除して得られた額となります。

長期履修学生を希望する者は、入学手続期間内に申請書類を提出してください。不明な点については、本学学務課大学院担当 (TEL 03-5978-5822, E-mail [daigakuin@cc.ocha.ac.jp](mailto:daigakuin@cc.ocha.ac.jp)) に問い合わせてください。

## (7) 奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等

日本学生支援機構による貸与型奨学金や、地方公共団体や民間団体による給付型及び貸与型奨学金の申請も受け付けています。その他学生支援として、入学料減免や授業料減免、徴収猶予の制度があります。詳細については、本学ホームページを参照してください。

○奨学金について <https://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/about.html>

○入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

○学生寮 <https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

不明な点については、本学学生・キャリア支援課又は国際課（下記）に問い合わせてください。

奨学金担当 TEL 03-5978-5148, E-mail [gakusei@cc.ocha.ac.jp](mailto:gakusei@cc.ocha.ac.jp)

留学生奨学金担当 TEL 03-5978-5143, E-mail [ryunai@cc.ocha.ac.jp](mailto:ryunai@cc.ocha.ac.jp)

入学料及び授業料免除、学生寮担当 TEL 03-5978-2646, E-mail [gakusei@cc.ocha.ac.jp](mailto:gakusei@cc.ocha.ac.jp)

### 3. 出 願 資 格

【一般入試】 下記(1)～(10)のいずれかに該当する女子とする。

【社会人特別入試】 下記(1)～(9)のいずれかに該当する女子で、各コース又は専攻の要件（専攻別要項に記載）を

【推薦入試】 満たす者とする。

【外国人留学生入試】 下記(1)～(9)のいずれかに該当する外国人女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」（又は「留学」に変更できる在留資格）を有する者及び入学時に取得できる見込みの者とする。

※ ただし、10月入学は、該当コースの一般入試、社会人特別入試及び外国人留学生入試出願者のみ対象とし、下記2025年3月31日を2024年9月30日と読み替える。

また、外国人留学生入試の出願資格を満たすものは、外国人留学生入試で出願すること（社会人特別入試、推薦入試で出願できる場合を除く）。

- (1) 大学を卒業した者及び2025年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日現在22歳に達する者

#### 【一般入試のみ対象】

(10) 2025年4月1日（10月入学希望者は2024年10月1日）現在、下記の①から④までのいずれかに該当し、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認める者

- ① 大学に3年以上在学した者
- ② 外国において15年の学校教育の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育の授業科目を我が国において履修し15年の学校教育の課程を修了した者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者

ただし、ライフサイエンス専攻生命科学コース、理学専攻物理科学コースと化学・生物化学コースのみ適用する。他コースは該当しない。

(注1) 出願資格の(1)に定める「大学」とは、学校教育法に基づく日本の大学のことである。外国の大学の出身者については、出願資格(3)又は(6)により、出願資格を判断することになる。なお(3)に該当せず外国における学校教育を修了した者は、(6)に該当するか否かについて、資格審査出願期間前に必ず入試課に確認すること。

(注2) 外国人留学生でも日本の高等学校を卒業した者は、一般入試の対象となる。

※ 出願資格の(2)～(10)により受験を希望する場合は、出願前に入試課に照会すること。

(9)、(10)により受験を希望する者は、出願に先立ち「資格審査」を行う。

(9)は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など((5)、(7)の場合を除く)「大学を卒業していない者」が対象となる。

(10)により受験を希望する者は、各大学の3年次修了時点での必修科目は必ず履修し、単位を取得していること。受験者は、担当教員又は専攻長と事前相談すること。

「ライフサイエンス専攻」生命科学コース

第3年次前期までに取得した単位のうち、評価A又はこれに準ずるものが80単位以上とする。

「理学専攻」物理科学コース、化学・生物化学コース

第3年次前期までに80単位以上取得し、成績がきわめて優秀な者。

#### 【ただし、次の事項に注意すること】

- ① 入学試験に合格した者が、上記に定める所定の単位と成績を修得できないときは合格を取り消す。
- ② この出願資格により入学する者は、学部学生としての身分は退学となり、学部卒業が要件となる各種資格等の受験資格はなくなるので、十分注意すること。

### (1) 資格審査出願について

#### ① 資格審査出願期間

8月入試・9月入試                      2024年6月27日(木)～6月28日(金)【郵送必着】

2月入試                                      2024年11月21日(木)～11月22日(金)【郵送必着】

(注) 出願は、**出願期間最終日17時必着**とする。ただし最終日前日の日本国内の受付局消印のある物に限り、期間後に到着した場合でも受理する。

#### ② 資格審査出願書類

##### 出願資格(9)に該当する者の資格審査出願書類

各専攻毎の出願書類の他に、次の書類を提出すること。ただし検定料振込及び返信用封筒は除く。

- A. 開講科目等(在籍していた学校の開講科目、履修要項、シラバス等で講義内容が記載されたもの)
- B. 業績調書(専攻分野に関連する研究業績等のコピー等を添付のこと)

##### 出願資格(10)に該当する者の資格審査出願書類

各専攻毎の出願書類の他に、次の書類を提出すること。ただし検定料振込及び返信用封筒は除く。

- A. 推薦書(学科長あるいはそれに準ずる人が作成したもの。様式は任意とする。※)
- ※ 理学専攻物理科学コース及び化学・生物化学コースは、所属学科等での成績が上位10%以内であることが明記されていること。
- B. 出身大学(学部)履修規程(卒業に必要な授業科目・単位数を明記したもの。本学在学学生は不要)

#### ③ 資格審査結果通知

8月入試・9月入試                      2024年7月10日(水)までに郵送により通知する。

2月入試                                      2024年12月4日(水)までに郵送により通知する。

出願資格審査により出願資格を認められた者は、検定料(30,000円)を振り込み、「検定料納入済票(大学提出用)」又は「収納証明書」及び返信用封筒を、所定の出願期間内に郵送すること。

### (2) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 心身に障がいあるいは疾病があり、受験上配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、本学入試課へ申し出いただき、資格審査出願期間までに「受験上の配慮事前相談申請書」「医師の診断書」等をご提出ください。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出てください。また、出願後に不慮の事故等により、同様に受験上及び修学上の配慮を希望するに至った場合には、直ちに入試課へ申し出の上相談してください。

- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を 2020 年 4 月入学者から受け入れております。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、入試の出願 1 ヶ月前（8 月及び 9 月入試：2024 年 5 月 31 日（金）、2 月入試：2024 年 10 月 25 日（金））までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申し出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。ただし、本学に正規生として在学中の学生は「出願申出書」と学生証の写しを提出してください。

#### 4. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。
- (2) 大学が取得した氏名、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金の選考等）及び授業料等に関する業務を行う為に必要な範囲内で利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。調査・分析等結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
- (4) お茶の水女子大学は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく今回入手した個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

#### 5. 学生募集及び入学試験に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

TEL 03-5978-5697（土日祝日、年末年始を除く平日 9 時～17 時受付）

E-mail [nyushi@cc.ocha.ac.jp](mailto:nyushi@cc.ocha.ac.jp)



## VI. 外国人留学生入試

# 外国人留学生入試専攻別要項

## ○ 比較社会文化学専攻（2月入試のみ）

実施コース	募集人員
日本語日本文学コース	若干名
アジア言語文化学コース	
英語圏・仏語圏言語文化学コース	
日本語教育コース	
思想文化学コース	
	歴史文化学コース
	生活文化学コース
	舞踊・表現行動学コース
	音楽表現学コース

### (1) 出願書類（1～8は、全員提出。9～12は、該当者のみ提出）

1	入学願書 受験票・写真票	[本学所定の用紙] 4.5 cm×3.5 cmで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付。
2	卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学（学士課程）等が発行したもの（コピー不可、卒業証書しかない場合は、 <u>大使館等公的機関の公証等の証明を受けたもの、または本学入試課で原本証明したものを提出すること。卒業証書原本は受理しない。中国の大学出身の場合は（注1）を参照すること。</u> ）。
3	研究計画書	[本学所定の用紙] 1, 000字程度で、留学の目的、研究予定の専攻分野、将来の計画等についてまとめたもの。（日本語で作成すること）
4	成績証明書	出身大学（学士課程）等が発行したもの（コピー不可）。
5	住民票の写し等	出願時日本に在住している場合は市区町村発行の「住民票の写し（在留資格が明記されたもの、コピー不可）」を、それ以外の外国人にあっては、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別、国籍が明記された箇所）を提出すること。
6	検定料納入確認書 （検定料） （注2）	30,000円 銀行振込又はコンビニエンスストアでの払込に限る。  【銀行振込の場合】 (1) ゆうちょ銀行以外の金融機関で所定の振込み用紙により支払うこと。（手数料は本人負担。） (2) ご依頼人名義欄は必ず受験者の氏名を記入すること。 (3) 振込依頼書の納入済票（大学提出用）部分のみを切り離し検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。  【コンビニエンスストアでの払込の場合】 p.77「お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内」を参照のうえ払い込むこと。（手数料は本人負担。）  「収納証明書」部分を切り取り、検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。  ※ <u>日本政府国費外国人留学生は原則的に不要のため、国費外国人留学生であることを記載した証明書を提出すること。</u> なお、本学を進学希望校として奨学金支給期間延長申請をしている場合に限る。
7	返信用封筒	本学所定の封筒に宛名を明記し460円分（定形郵便110円＋簡易書留350円）の切手を貼付すること。
8	宛名票	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

### （該当者のみ追加提出書類）

9	卒業論文等 （該当コース 志願者のみ） （注3）	アジア言語文化学、英語圏・仏語圏言語文化学、思想文化学、歴史文化学、生活文化学、舞踊・表現行動学及び音楽表現学コースの志願者は卒業論文又は研究成果等を提出すること。それらが共がない場合は、その旨を用紙に記入し提出すること。ただし思想文化学及び歴史文化学（美術史）の志願者については、大学院で志望する専門領域に関する卒業論文又はそれに相当する研究成果等を必ず提出すること。また上記いずれの場合も日本語以外の言語で作成したものについては、原本とあわせて、全体を日本語訳したものを提出すること。（日本語が困難な場合は、英語でも可）。 音楽表現学コースの志願者で、論文に代わるものとして演奏を行った者は、卒業試験演奏曲目を提出すること。
---	-----------------------------------	---

10	研究報告書 (該当コース 志願者のみ)	日本語日本文学コース、日本語教育コースの志願者は、大学における卒業論文、あるいは卒業後の研究内容のいずれかを1,000字以内でまとめたものを提出すること〔本学所定の用紙〕(日本語で作成すること)。ただし、日本語日本文学コース志望で、日本国内の大学において日本語の卒業論文を提出した者は、研究報告書ではなく、前項9の「卒業論文等」を提出すること。 <u>それ以外のコース志願者は、提出不要。</u>
11	TOEFL 又は IELTS のスコア票 (仏語圏言語文化専修、生活文化学コース志願者のみ)	仏語圏言語文化専修、生活文化学コースの志願者は、TOEFL のスコア票又は IELTS の成績証明書を提出すること。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。(例外として、(注4)参照) それ以外のコース志願者は、提出不要。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注5)を参照すること。
12	日本語能力試験 N1 の証明書 (日本語教育コース志願者のみ) (注6)	(財)日本国際教育支援協会、(独)国際交流基金(台湾では、(財)日本台湾交流協会)が実施する日本語能力試験N1又は1級の「認定結果及び成績に関する証明書」(証明書の原本、コピー不可)。(例外として、(注8)参照)

(注1) 中国国内の中国高等教育学生信息网(CHSI)または日本国内のCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構に次の証明書(英語版に限る)の発行を依頼し入手してください。

既卒者：(Online) Verification Report of Higher Education Qualification Certificate  
および (Online) Verification Report of Higher Education Degree Certificate

卒業見込者：(Online) Verification Report of Student Certificate

なお、提出にあたっては発行機関が作成した証明書の原本を基本とし、発行手段がウェブサイトのみである場合に限りダウンロードしてA4判に印刷したものを認めます。

(注2) 日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人(日本に在住する者)が日本国内からの振込方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料(海外銀行分)と支払銀行手数料(日本国内銀行分)の両方が依頼人(出願者)負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。

【海外送金の場合の必要情報】

銀行名 (Bank name) : MUFG Bank, Ltd.  
支店名 (Branch) : Head Office  
銀行住所 (Address) : 2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan  
受取名義人 (Beneficiary) : Ochanomizu University  
口座番号 (Account No.) : 7876401  
SWIFT Code : BOTKJPJT

(注3) 卒業見込学生で、出願期間以降(2024年12月18日(水)以降)に卒業論文の提出締切日がある場合には、論文題目と論文提出締切日を記載した表紙のみ出願書類に同封し、論文本体は2025年1月10日(金)【必着、ただし1月9日(木)の消印は受理】までに書留速達で提出してください。1月10日(金)以降に提出締切日がある場合には、1月9日(木)時点での論文本体を1月10日(金)必着(1月9日(木)の消印は受理)で提出してください。

(注4) 母語が英語の場合は提出不要。  
すべての科目を英語で行う大学又は大学院で全学年履修し卒業の場合は提出不要。(ただし、大学所在国の公用語が英語でない場合は、授業がすべて英語で行われていることを証明する大学からの書類を提出すること。)

(注5) 【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とします。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められません。TOEFL のスコア票については、ETS (Educational Testing Service) から本人宛に郵送された受験者用控えスコアレポート“Test Taker Score Report”の原本とコピーを提出してください。ウェブサイトよりダウンロード(印刷)したスコアシートは受理しません。

【IELTS 成績証明書の提出方法】

IELTS テスト (CD IELTS 含む) のスコアは、アカデミック・モジュールのスコアのみ有効とします。Indicator 等自宅受験型のスコアは認められません。  
IELTS テストの成績証明書 (Test Report Form) は、原本とコピーを提出してください。

直近の受験のため、出願時にスコア原本が間に合わなかった場合に限り、受験票の写し又はOnline上のスコアプリントを提出し、2025年1月6日(月)までに、必ず各スコア原本とコピーを書留速達にて提出してください。

(注6) 日本語能力試験N1又は1級の「認定結果及び成績に関する証明書」(コピー不可)を出願時に提出すること。受験時期は問わない。なお、「認定結果及び成績に関する証明書」の入手方法に関しては、日本語能力試験(JLPT)のホームページ(<https://www.jlpt.jp/certificate/>)を参照してください。

(注7) 日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、日本語訳を添付すること。

(注8) 教育課程を主として日本語で行う大学又は大学院を卒業した者は提出不要。この場合は卒業を証明する大学からの書類を提出すること。

(2) 選考方法 (コースによって時間割が異なるので注意してください。)

試験日時 コース	2025年2月3日(月)		2月4日(火)
	共通外国語試験(注1) 9:30~10:30	専門試験 11:00~13:00	口述試験 10:00~
日本語日本文学	/	日本語学・日本文学	口 述 試 験
アジア言語文化学		中国語学・中国文学	
日本語教育		日本語教育学	
英語圏・仏語圏言語文化学(英語圏言語文化専修)	フランス語・ドイツ語・中国語から1言語選択(辞書持込不可)	英語・英語学及び英米(英語圏)文学	
思想文化学	英語・ドイツ語・フランス語から1言語選択(辞書持込不可)	哲学又は倫理学から1科目を選択	
歴史文化学	英語・ドイツ語・フランス語・中国語から1言語選択(辞書持込不可)(注2)	日本史・アジア史・西洋史・美術史から志望する分野と同じ1科目を選択。 なお、美術史分野で、西洋美術史を専攻する者には、専門試験内で、英・ドイツ・フランスから1言語の語学試験を課す(共通外国語試験とは異なる言語を選択、ただし母国語は選択不可)(辞書持込不可)。	
(配点)	100点 (免除者は除く)	100点	100点

(注1) 母国語も可。ただし、歴史文化学コース(美術史)を選択する者は母国語は不可とする。

(注2) 歴史文化学コース出願者で、専門試験で日本史を選択する者には、共通外国語試験を課さない(写真票・受験票の共通外国語試験は「無し」をチェックすること)。

試験日時 コース	2025年2月3日(月)		
	外国語試験	専門試験(外国語を含む) 9:30~11:30	口述試験 14:00~
英語圏・仏語圏言語文化学(仏語圏言語文化専修)	本学指定の外部テストの成績を100点満点に換算	仏語・仏語圏の文学と文化	口 述 試 験
舞踊・表現行動学	/	共通問題: 舞踊学 選択問題: 舞踊学、スポーツ科学	
(配点)	100点 (免除者は除く)	100点	100点

試験日時 コース	2025年2月3日(月)		
	外国語試験	専門試験 9:30~11:30	口述試験 14:00~
生活文化学	本学指定の外部テストの成績を100点満点に換算	日本服飾史・西洋服飾史・比較文化論・民俗学から2科目選択	口 述 試 験
(配点)	100点 (免除者は除く)	100点	100点

試験日時 コース	2025年2月3日(月)	2月4日(火)
	専門試験(外国語を含む) 9:30~11:30	口述試験 14:00~
音楽表現学	音楽学・音楽理論 (英語の出題を含む) (辞書持込不可)	口述試験及び下記の演奏実技 音楽学:任意の楽器又は声、曲目は自由。 演奏学:10分程度の演奏、曲目は自由。 いずれの場合も、必要な場合は伴奏者を同伴すること。 (音楽学、演奏学はどちらかを選択すること。)
(配点)	200点	100点

## ○ 人間発達科学専攻(9月入試〔実施しないコースあり〕・2月入試)

実施コース	募集人員
教育科学コース 心理学コース 発達臨床心理学コース	応用社会学コース 保育・児童学コース 若干名

### (1) 出願書類

1	入学願書 受験票・写真票	[本学所定の用紙] 4.5cm×3.5cmで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付。
2	卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学(学士課程)等が発行したもの(コピー不可、卒業証書しかない場合は、 <u>大使館等公的機関の公証等の証明を受けたもの</u> 、または本学入試課で原本証明したものを提出すること。卒業証書原本は受理しない。 <u>中国の大学出身の場合は(注1)を参照すること。</u> )。
3	卒業論文等	卒業論文(注2)又は研究成果がわかるもの。なお、日本語以外の言語で作成したものについては、原本とあわせて日本語でその要約を提出すること(日本語訳が困難な場合は、英語でも可)。 <コース別注意事項> 教育科学コース : 卒業論文がない場合は、研究成果等がわかるものを代わりに提出。それらが共になければ、その旨を用紙に記入し提出。 心理学コース : 卒業論文がない場合は、研究成果等を代わりに提出。それらが共になければ、その旨を用紙に記入し提出。 発達臨床心理学コース : 卒業論文がない場合は、研究成果等(卒業論文と同等以上のもの)を代わりに必ず提出。 応用社会学コース : アドミッション・ポリシーを参照の上、卒業論文、又は卒業論文と同等以上の研究論文(日本語で18,000字以上の社会的な内容)を提出すること。 保育・児童学コース : 卒業論文(領域は問わない、修士論文でも可)があれば提出すること。卒業論文がない場合は、研究成果ないしは研究準備状況等がわかるもの(6,000字程度ないしそれ以上の分量のもの、雑誌論文等でも可)を代わりに提出すること。
4	研究報告書	[本学所定の用紙]1,600字程度で、出願以前に携わった研究(卒業論文又は研究成果として提示したい研究等)の概要を提出すること。
5	研究計画書	[本学所定の用紙]1,600字程度で、大学院における研究計画をまとめたもの。
6	成績証明書	出身大学(学士課程)等が発行したもの(コピー不可)。
7	TOEFL又はIELTS のスコア票 (発達臨床心理学 コースのみ)	TOEFLのスコア票又はIELTSの成績証明書。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注4)を参照すること。

8	住民票の写し等	出願時日本に在住している場合は、市区町村発行の「住民票の写し（在留資格が明記されたもの、コピー不可）」を、それ以外の外国人にあっては、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別、国籍が明記された箇所）を提出すること。
9	検定料納入確認書 （検定料） （注5）	<p>30,000円 銀行振込又はコンビニエンスストアでの払込に限る。</p> <p><b>【銀行振込の場合】</b>          (1) <b>ゆうちょ銀行以外</b>の金融機関で所定の振込み用紙により支払うこと。（手数料は本人負担。）          (2) ご依頼人名義欄は必ず<b>受験者の氏名</b>を記入すること。          (3) 振込依頼書の<b>納入済票（大学提出用）部分</b>のみを切り離し検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。</p> <p><b>【コンビニエンスストアでの払込の場合】</b>          p.77「お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内」を参照のうえ払い込むこと。（手数料は本人負担。）</p> <p><b>「収納証明書」部分</b>を切り取り、検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。</p> <p>※ <u>日本政府国費外国人留学生は原則的に不要のため、国費外国人留学生であることを記載した証明書を提出すること。</u>          なお、本学を進学希望校として奨学金支給期間延長申請をしている場合に限る。</p>
10	返信用封筒	本学所定の封筒に宛名を明記し460円分（定形郵便110円＋簡易書留350円）の切手（※9月入試は444円分の切手）を貼付すること。
11	宛名票	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

(注1) 中国国内の中国高等教育学生信息网(CHSI)または日本国内のCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構に次の証明書（英語版に限る）の発行を依頼し入手してください。

既卒者：(Online) Verification Report of Higher Education Qualification Certificate  
 および (Online) Verification Report of Higher Education Degree Certificate

卒業見込者：(Online) Verification Report of Student Certificate

なお、提出にあたっては発行機関が作成した証明書の原本を基本とし、発行手段がウェブサイトのみである場合に限りダウンロードしてA4判に印刷したものを認めます。

(注2) 卒業論文とは、所属機関にて正式に卒業論文として位置付けられているものに限られる。2月入試出願時、卒業見込学生で、出願期間以降（2024年12月18日（水）以降）に卒業論文の提出締切日がある場合には、論文題目と論文提出締切日を記載した表紙のみ出願書類に同封し、論文本体（所属機関に提出期限内に提出したものと同一のもの）は2025年1月10日（金）【必着、ただし1月9日（木）の消印は受理】までに書留速達で提出してください。1月10日（金）以降に提出締切日がある場合には、1月9日（木）時点での論文本体を1月10日（金）必着（1月9日（木）の消印は受理）で提出してください。9月入試の保育・児童学コースへの出願者で卒業見込みの者は、研究成果ないしは研究準備状況がわかるものを代わりに提出してください。

(注3) **応用社会学コース**については、TOEIC、TOEFL、IELTS、実用英語検定、日本語能力試験（JLPT）のスコア・級を持っている者は、スコア票等の写しを提出すること。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。

(注4) **【TOEFL スコア票の提出方法】**

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とします。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められません。TOEFL のスコア票については、ETS (Educational Testing Service) から本人宛に郵送された受験者用控えスコアレポート “Test Taker Score Report” の**原本とコピー**を提出してください。ウェブサイトよりダウンロード（印刷）したスコアシートは受理しません。

**【IELTS 成績証明書の提出方法】**

IELTS テスト（CD IELTS 含む）のスコアは、アカデミック・モジュールのスコアのみ有効とします。

Indicator 等自宅受験型のスコアは認められません。

IELTS テストの成績証明書（Test Report Form）は、原本とコピーを提出してください。

直近の受験のため、出願時にスコア原本が間に合わなかった場合に限り、受験票の写し又は Online 上のスコアプリントを提出し、2月入試に関しては2025年1月6日（月）までに、必ず各スコア原本とコピーを書留速達にて提出してください。

(注5) 日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人（日本に在住する者）が日本国内からの振込方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が依頼人（出願者）負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。

【海外送金の場合の必要情報】

銀行名 (Bank name) : MUFG Bank, Ltd.  
 支店名 (Branch) : Head Office  
 銀行住所 (Address) : 2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan  
 受取名義人 (Beneficiary) : Ochanomizu University  
 口座番号 (Account No.) : 7876401  
 SWIFT Code : BOTKJPJT

(注6) 日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、日本語訳を添付すること。

(2) 選考方法

教育科学コース【2月入試のみ】

試験日時 コース	2025年2月3日(月)	2月4日(火)
教育科学	専門試験(外国語を含む) [本学より貸与する英和辞典使用可] 9:30~12:00	口述試験 10:00~
	英文読解及び教育学に関する論述問題	卒業論文の内容及び研究計画等について口述する。
(配点)	200点	A・B・C・D

(注) 出願前に教育科学コースのホームページを参照すること。

心理学コース

【9月入試】

試験日時 コース	2024年9月8日(日)	
心理学	専門試験(外国語を含む) [辞書持込不可] 9:30~11:30	口述試験 13:00~
	英語。内容は心理学、統計学、研究法等	卒業論文の内容及び出願書類「研究計画書」の内容等について口述する。
(配点)	200点	A・B・C・D

(注) 心理学コースの受験者は志望指導教員に、出願期間前に必ずあらかじめ連絡をとること。

【2月入試】

試験日時 コース	2025年2月3日(月)	
心理学	専門試験(外国語を含む) [辞書持込不可] 9:30~11:30	口述試験 13:30~
	英文読解及び発達心理学、認知心理学、社会心理学、臨床心理学、教育心理学のうち志望する分野(志望指導教員が専門とする分野)と同じ1科目を選択	卒業論文の内容及び研究計画等についてプレゼンテーションソフトを用いプレゼンテーション(8分間以内)を行った後、プレゼンテーションの内容を含む質疑応答を行う。
(配点)	200点	A・B・C・D

(注1) 心理学コースの受験者は志望指導教員に、出願期間前に必ずあらかじめ連絡をとること。

(注2) プレゼンテーションに用いるパソコンは、受験者自身が持参すること。

(注3) プロジェクターに接続する HDMI ケーブルをパソコンに挿すための変換アダプタは、受験者自身が持参すること。

(注4) プレゼンテーションの際に必要なであれば、読み上げ原稿やメモを用意してもよい。

### 発達臨床心理学コース【2月入試のみ】

試験日時 コース	2025年2月3日(月)		2月4日(火)
	外国語試験	専門試験 9:30~11:30	口述試験 10:00~
発達臨床心理学	本学指定の外部テストの成績を利用	発達臨床心理学	卒業論文の内容及び研究計画等について口述する。
(配点)	80点	120点	A・B・C・D

### 応用社会学コース【9月入試・2月入試】

試験日時 コース	2024年9月8日(日)		
	2025年2月3日(月)		
応用社会学	専門試験(外国語を含む) [辞書持込不可] 9:30~12:00	口述試験 13:30~	
	英文読解及び応用社会学	卒業論文もしくは研究論文の内容及び研究計画等について口述する。	
(配点)	200点	A・B・C・D	

### 保育・児童学コース【9月入試・2月入試】

試験日時 コース	2024年9月8日(日)		
	2025年2月3日(月)		
保育・児童学	専門試験(外国語を含む) [本学より貸与する英和辞典使用可] 9:30~12:00	口述試験 13:30~	
	英文読解及び保育学、児童学、発達心理学、社会学、教育学に関する論述問題(注)	卒業論文の内容及び研究計画等について口述する。	
(配点)	200点	A・B・C・D	

(注) 保育・児童学コースのホームページを必ず参照すること。

(<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/human/child-childcare/index.html>)

## ○ジェンダー社会科学専攻(9月入試・2月入試)

募集人員
若干名

(1) 出願書類(3は9月入試出願時、4は2月入試出願時に、提出を要する。)

1	入学願書 受験票・写真票	[本学所定の用紙] 4.5cm×3.5cmで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付。
2	卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学(学士課程)等が発行したもの(コピー不可、卒業証書しかない場合は、 <u>大使館等公的機関の公証等の証明を受けたもの</u> 、または本学入試課で原本証明したものを提出すること。卒業証書原本は受理しない。 <u>中国</u> の大学出身の場合は(注1)を参照すること。)

3	リサーチペーパー (卒業論文等) (9月入試)	卒業論文又は、研究成果等がわかるもの(6,000字以上)を提出すること。なお、日本語以外の言語で作成したものについては、原本とあわせて日本語でその概要(6,000字以上)を提出すること。いずれの場合も、 <b>必ず2部提出</b> すること。
4	卒業論文等 (2月入試)	本学卒業見込者を含め、卒業論文(注2)を提出すること。卒業論文がない場合は研究成果等がわかるもの(6,000字以上)を提出すること。なお、日本語以外の言語で作成したものについては、原本とあわせて日本語でその概要(6,000字以上)を提出すること。いずれの場合も、 <b>必ず2部提出</b> すること。
5	研究報告書	[本学所定の用紙] 1, 600字程度で、出願以前に携わった研究(卒業論文又は研究成果として提示したい研究等)の概要を提出すること。
6	研究計画書	[本学所定の用紙] 1, 600字程度で、大学院における研究計画をまとめたものを提出すること。
7	成績証明書	出身大学(学士課程)等が発行したもの(コピー不可)。
8	TOEFL又はIELTS のスコア票	TOEFLのスコア票又はIELTSの成績証明書。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注3)を参照すること。
9	住民票の写し等	出願時日本に在住している場合は、市区町村発行の「住民票の写し(在留資格が明記されたもの、コピー不可)」を、それ以外の外国人にあつては、パスポートの写し(本人の氏名、生年月日、性別、国籍が明記された箇所)を提出すること。
10	検定料納入確認書 (検定料) (注4)	30,000円 <b>銀行振込又はコンビニエンスストアでの払込に限る。</b>  <b>【銀行振込の場合】</b> (1) <b>ゆうちょ銀行以外</b> の金融機関で所定の振込み用紙により支払うこと。(手数料は本人負担。) (2) ご依頼人名義欄は必ず <b>受験者の氏名</b> を記入すること。 (3) 振込依頼書の <b>納入済票(大学提出用)部分</b> のみを切り離し検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。  <b>【コンビニエンスストアでの払込の場合】</b> p.77「お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内」を参照のうえ払い込むこと。(手数料は本人負担。)  <b>「収納証明書」部分</b> を切り取り、検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。  ※ <u>日本政府国費外国人留学生は原則的に不要のため、国費外国人留学生であることを記載した証明書を提出すること。</u> なお、本学を進学希望校として奨学金支給期間延長申請をしている場合に限り。
11	返信用封筒	本学所定の封筒に宛名を明記し460円分(定形郵便110円+簡易書留350円)の切手(※9月入試は444円分の切手)を貼付すること。
12	宛名票	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

(注1) 中国国内の中国高等教育学生信息网(CHSI)または日本国内のCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構に次の証明書(英語版に限る)の発行を依頼し入手してください。

既卒者: (Online) Verification Report of Higher Education Qualification Certificate

および (Online) Verification Report of Higher Education Degree Certificate

卒業見込者: (Online) Verification Report of Student Certificate

なお、提出にあたっては発行機関が作成した証明書の原本を基本とし、発行手段がウェブサイトのみである場合に限りダウンロードしてA4判に印刷したものを認めます。

(注2) 卒業見込学生で、出願期間以降(2024年12月18日(水)以降)に卒業論文の提出締切日がある場合には、論文題目と論文提出締切日を記載した表紙のみ出願書類と同封し、論文本体は2025年1月10日(金)【必着、ただし1月9日(木)の消印は受理】までに書留速達で提出してください。1月10日(金)以降に提出締切日がある場合には、1月9日(木)時点での論文本体を1月10日(金)必着(1月9日(木)の消印は受理)で提出してください。

(注3) 【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とします。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められません。TOEFL のスコア票については、ETS (Educational Testing Service) から本人宛に郵送された受験者用控えスコアレポート “Test Taker Score Report” の原本とコピーを提出してください。ウェブサイトよりダウンロード (印刷) したスコアシートは受理しません。

【IELTS 成績証明書の提出方法】

IELTS テスト (CD IELTS 含む) のスコアは、アカデミック・モジュールのスコアのみ有効とします。Indicator 等自宅受験型のスコアは認められません。IELTS テストの成績証明書 (Test Report Form) は、原本とコピーを提出してください。

直近の受験のため、出願時にスコア原本が間に合わなかった場合に限り、受験票の写し又は Online 上のスコアプリントを提出し、9 月入試に関しては 2024 年 8 月 20 日 (火) までに、2 月入試に関しては 2025 年 1 月 6 日 (月) までに、必ず各スコア原本とコピーを書留速達にて提出してください。

(注4) 日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人 (日本に在住する者) が日本国内からの振込方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料 (海外銀行分) と支払銀行手数料 (日本国内銀行分) の両方が依頼人 (出願者) 負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。

【海外送金の場合の必要情報】

銀行名 (Bank name) : MUFG Bank, Ltd.  
支店名 (Branch) : Head Office  
銀行住所 (Address) : 2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan  
受取名義人 (Beneficiary) : Ochanomizu University  
口座番号 (Account No.) : 7876401  
SWIFT Code : BOTKJPJT

(注5) 日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、日本語訳を添付すること。

(2) 選考方法

専攻	試験日時	2024 年 9 月 8 日 (日)		
		2025 年 2 月 3 日 (月)		
ジェンダー社会科学	外国語試験	専門試験 9:30~11:30	口述試験 13:00~	
	本学指定の外部テストの成績を提出 (上記(注3)参照)	全問中 2 問選択。	卒業論文・リサーチペーパー等の内容及び研究計画等について口述する。	
(配点)		100点	A・B・C・D	

(注) ジェンダー社会科学専攻について不明な点があれば、専攻長 ([kobayashi.makoto@ocha.ac.jp](mailto:kobayashi.makoto@ocha.ac.jp)) に問い合わせること。

○ ライフサイエンス専攻 (8 月入試・2 月入試)

実施コース	募集人員
生命科学コース 食品栄養科学コース [遺伝カウンセリングコース]※	若干名

※ 「遺伝カウンセリングコース」は、8 月入試で定員が充足された場合、2 月入試は実施しない。2 月入試の実施の有無については、11 月 29 日 (金) までに本学南門掲示板及びホームページ (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>) 上で通知する。

(1) 出願書類 (1~7 は全員提出、8、9 は該当者のみ提出)

1	入学願書 受験票・写真票	[本学所定の用紙] 4.5 cm×3.5 cm で出願前 3 か月以内に撮影した写真 2 枚を指定欄に貼付。
2	卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学 (学士課程) 等が発行したもの (コピー不可、卒業証書しかない場合は、 <u>大使館等公的機関の公証等の証明を受けたもの、または本学入試課で原本証明したものを提出すること。卒業証書原本は受理しない。中国の大学出身の場合は (注1) を参照すること。</u> )。

3	成績証明書	出身大学（学士課程）等が発行したもの（コピー不可）。ただし、「遺伝カウンセリングコース」については、これまで在籍した大学・大学院全ての成績証明書を提出すること。
4	住民票の写し等	出願時日本に在住している場合は、市区町村発行の「住民票の写し（在留資格が明記されたもの、コピー不可）」を、それ以外の外国人にあっては、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別、国籍が明記された箇所）を提出すること。
5	検定料納入確認書 （検定料） （注2）	30,000円 銀行振込又はコンビニエンスストアでの払込に限る。  【銀行振込の場合】 (1) ゆうちょ銀行以外の金融機関で所定の振込み用紙により支払うこと。（手数料は本人負担。） (2) ご依頼人名義欄は必ず受験者の氏名を記入すること。 (3) 振込依頼書の納入済票（大学提出用）部分のみを切り離し検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。  【コンビニエンスストアでの払込の場合】 p.77「お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内」を参照のうえ払い込むこと。（手数料は本人負担。）  「収納証明書」部分を切り取り、検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。  ※ <u>日本政府国費外国人留学生は原則的に不要のため、国費外国人留学生であることを記載した証明書を提出すること。</u> なお、本学を進学希望校として奨学金支給期間延長申請をしている場合に限る。
6	返信用封筒	本学所定の封筒に宛名を明記し460円分（定形郵便110円＋簡易書留350円）の切手（※8月入試は444円分の切手）を貼付すること。
7	宛名票	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

（8は、食品栄養科学コースのみ提出。9は、遺伝カウンセリングコースのみ提出）

8	TOEIC 又は TOEFL のスコア票 （食品栄養科学コースのみ）	TOEIC 公開テスト (Listening & Reading Test) 又は TOEFL のスコア票。 いずれも受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 他コースの志願者は提出不要。 各々のスコア票の提出方法に関しては、（注3）を参照すること。
9	志望理由書 （遺伝カウンセリングコースのみ）	「遺伝カウンセリングコース」については、1) 遺伝カウンセラーをめざす理由、2) 遺伝カウンセラーに必要と思われる資質と自分の資質の評価、3) 今後の抱負を日本語2,000字程度にまとめた志望理由書を提出すること。（用紙はA4サイズとし、書式は自由、手書き不可）

（注1）中国国内の中国高等教育学生信息网(CHSI)または日本国内のCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構に次の証明書（英語版に限る）の発行を依頼し入手してください。

既卒者：(Online) Verification Report of Higher Education Qualification Certificate

および (Online) Verification Report of Higher Education Degree Certificate

卒業見込者：(Online) Verification Report of Student Certificate

なお、提出にあたっては発行機関が作成した証明書の原本を基本とし、発行手段がウェブサイトのみである場合に限りダウンロードしてA4判に印刷したものを認めます。

（注2）日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人（日本に在住する者）が日本国内からの振込方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が依頼人（出願者）負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。

【海外送金の場合の必要情報】

銀行名 (Bank name) : MUFG Bank, Ltd.  
支店名 (Branch) : Head Office  
銀行住所 (Address) : 2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan  
受取名義人 (Beneficiary) : Ochanomizu University  
口座番号 (Account No.) : 7876401  
SWIFT Code : BOTKJPJT

(注3) 【外部テストスコア票の提出方法】 (食品栄養科学コースのみ)

TOEIC テストのスコアは、TOEIC 公開テスト (Listening & Reading Test) のスコアのみ、有効とします。公式認定証 “Official Score Certificate” の**原本 (写真貼付) とコピー**を提出してください。デジタル公式認定証 “Digital Official Score Certificate” の場合はA4判で印刷したものを提出してください。

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とします。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められません。ETS (Educational Testing Service) から本人宛に郵送された受験者用控えスコアレポート “Test Taker Score Report” の**原本 (写真貼付) とコピー**を提出してください。ウェブサイトよりダウンロード (印刷) したスコアシートは、受理しません。

直近の受験のため、出願時にスコア原本が間に合わなかった場合に限り、受験票の写し又は Online 上のスコアプリントを提出し、8月入試に関しては2024年7月26日(金)までに、2月入試に関しては2025年1月6日(月)までに、必ず各スコア原本とコピーを書留速達にて提出してください。

(注4) 日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、日本語訳を添付すること。

(2) 選考方法

生命科学コース

試験日時	2024年8月21日(水)		8月22日(木)
	2025年2月3日(月)		
生命科学	専門試験 (外国語を含む) 9:30~11:00 生命科学に関する英語の試験 (辞書持込不可)	口述試験 8月入試 <1日目> 12:00~ <2日目> 10:00~ 2月入試 13:00~ 生命科学分野に関して、別途提示された課題について口述する。発表は8分程度としPCプロジェクターを用いること。試験時間は発表・質疑応答を合わせ20分程度である。なお、発表内容の要旨 (A4サイズ1枚 800字以内) を事前に印刷し、専門試験 (外国語を含む) の開始前に試験監督者に提出すること。 <u>課題は、8月入試に関しては6月28日(金)、2月入試に関しては11月29日(金)に、以下のホームページ上で公表する。発表方法の詳細もホームページ上で公表する。</u> なお、ご覧になれない方は、必ず封筒表面に朱書きで「ライフサイエンス専攻生命科学コース口述試験課題希望」と記入のうえ84円切手を貼った返信用封筒を同封し、入試課まで請求すること。 <a href="https://www.ao.ocha.ac.jp/">https://www.ao.ocha.ac.jp/</a>	
(配点)	100点	100点	

(注) 受験者は志望指導教員に必ずあらかじめ連絡をとること。

食品栄養科学コース

試験日時	2024年8月21日(水)			8月22日(木)
	2025年2月3日(月)			
食品栄養科学	外国語試験 本学の指定する外部テスト (TOEIC 又は TOEFL) の成績を利用	専門試験 9:30~12:00 一般化学、生理・生化学ならびに食品栄養科学分野の問題を選択する。	口述試験 13:00~ 卒業研究の内容及び将来の研究等について口述する。	
(配点)	外部テストの成績を100点満点に換算	基礎 (必修) 160点 選択 240点	専門計 400点	A・B・C・D

(注) 受験者は志望指導教員に必ずあらかじめ連絡をとること。また、志望指導教員又は研究テーマについて質問がある場合は、食物栄養学科ホームページ (<https://www.hles.ocha.ac.jp/ug/food/index.html>) を参照すること。

遺伝カウンセリングコース（2月入試実施の有無については、11月29日（金）までに本学南門掲示板及びホームページ（<https://www.ao.ocha.ac.jp/>）上で通知する。）

試験日時	2024年8月21日（水）		8月22日（木）	
コース	2025年2月3日（月）			
遺伝 カウンセリング	外国語試験（英語）（辞書持込不可）、 遺伝カウンセリングに関する基礎科目 試験（以下の分野の基本的事項：遺伝学、 カウンセリング論、生命・医療倫理学）、 小論文試験  9：30～12：30 （なお、各科目の試験時間は区切られま せん。）		口 述 試 験 8月入試 <1日目> 14：00～ <2日目> 10：00～ 2月入試 14：00～  遺伝カウンセリング分野に関して、別途提示された課題 について口述する。発表は6分程度とし、パワーポイン ト（PCプロジェクター）を使用できる。その他試験方法 （時間、要旨提出等）及び課題発表方法は、8月入試に 関しては7月7日（日）、2月入試（入試を行う場合） に関しては12月8日（日）に、以下（注）のホームペー ジ上で公表する。郵送で請求の場合は、「遺伝カウンセ リングコース口述試験課題希望」とすること。なお、発 表内容の要旨（A4サイズ1枚 800字以内）を筆記試験 の開始前に試験監督者に提出すること。 <a href="https://www.ao.ocha.ac.jp/">https://www.ao.ocha.ac.jp/</a>	
（配点）	外国語試験	基礎科目	小論文	200点
	100点	100点	100点	

（注）遺伝カウンセリングコースの志願者は、当コースのホームページを確認し、必ず事前説明会に参加すること。

（<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/life/gccourse/coursemenu/index.html>）

問い合わせ：コース代表 三宅秀彦教授（電話：03-5978-5587、電子メール：[miyake.hidehiko@ocha.ac.jp](mailto:miyake.hidehiko@ocha.ac.jp)）

## ○ 理学専攻（8月入試・2月入試）

実施コース	募集人員
数学コース 化学・生物化学コース	物理科学コース 情報科学コース  若干名

### (1) 出願書類（1～7は全員提出、8～10は該当者のみ提出）

1	入学願書 受験票・写真票	〔本学所定の用紙〕 4.5 cm×3.5 cmで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付。
2	卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学（学士課程）等が発行したもの（コピー不可、卒業証書しかない場合は、 <u>大使館等公的機関の公証等の証明を受けたもの、または本学入試課で原本証明したものを提出すること。卒業証書原本は受理しない。中国の大学出身の場合は（注1）を参照すること。</u> ）。
3	成績証明書	出身大学（学士課程）等が発行したもの（コピー不可）。
4	住民票の写し等	出願時日本に在住している場合は、市区町村発行の「住民票の写し（在留資格が明記されたもの、コピー不可）」を、それ以外の外国人にあつては、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別、国籍が明記された箇所）を提出すること。
5	検定料納入確認書 （検定料） （注2）	30,000円 銀行振込又はコンビニエンスストアでの払込に限る。  <b>【銀行振込の場合】</b> (1) ゆうちょ銀行以外の金融機関で所定の振込み用紙により支払うこと。（手数料は本人負担。） (2) ご依頼人名義欄は必ず <b>受験者の氏名</b> を記入すること。 (3) 振込依頼書の <b>納入済票（大学提出用）部分</b> のみを切り離し検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。

		<p><b>【コンビニエンスストアでの払込の場合】</b> p. 77「お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内」を参照のうえ払い込むこと。（手数料は本人負担。）</p> <p><b>「収納証明書」部分</b>を切り取り、検定料納入確認書の所定の位置に貼付すること。</p> <p>※ <u>日本政府国費外国人留学生は原則的に不要のため、国費外国人留学生であることを記載した証明書を提出すること。</u> なお、本学を進学希望校として奨学金支給期間延長申請をしている場合に限る。</p>
6	返信用封筒	本学所定の封筒に宛名を明記し 460 円分（定形郵便 110 円＋簡易書留 350 円）の切手（※ 8 月入試は 444 円分の切手）を貼付すること。
7	宛名票	合格通知に必要なので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

（8， 9 は、情報科学コースのみ提出、10 は、化学・生物化学コース及び情報科学コースのみ提出。）

8	研究報告書 (情報科学コースのみ)	〔本学所定の用紙〕情報科学コースの志願者は、1， 600 字程度でまとめたものを提出すること。他コース志願者は不要。
9	研究計画書 (情報科学コースのみ)	〔本学所定の用紙〕情報科学コースの志願者は、1， 600 字程度で、大学院における研究計画をまとめたものを提出すること。他コース志願者は不要。
10	TOEIC 又は TOEFL のスコア票 (化学・生物化学コース及び情報科学コースのみ)	化学・生物化学コース及び情報科学コースの志願者は、TOEIC 公開テスト (Listening & Reading Test) 又は TOEFL のスコア票 (写真貼付のもの) を提出すること。受験日が本学入学試験日からさかのぼって 2 年以内を有効とする。他コースの志願者は提出不要。各々のスコア票の提出方法に関しては、(注 3) を参照すること。

(注 1) 中国国内の中国高等教育学生信息网 (CHSI) または日本国内の CHSI 中国学歴・学籍認証センター日本代理機構に次の証明書 (英語版に限る) の発行を依頼し入手してください。

既卒者: (Online) Verification Report of Higher Education Qualification Certificate

および (Online) Verification Report of Higher Education Degree Certificate

卒業見込者: (Online) Verification Report of Student Certificate

なお、提出にあたっては発行機関が作成した証明書の原本を基本とし、発行手段がウェブサイトのみである場合に限りダウンロードして A 4 判に印刷したものを認めます。

(注 2) 日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人 (日本に在住する者) が日本国内からの振込方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料 (海外銀行分) と支払銀行手数料 (日本国内銀行分) の両方が依頼人 (出願者) 負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。

**【海外送金の場合の必要情報】**

銀行名 (Bank name) : MUFG Bank, Ltd.  
支店名 (Branch) : Head Office  
銀行住所 (Address) : 2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan  
受取名義人 (Beneficiary) : Ochanomizu University  
口座番号 (Account No.) : 7876401  
SWIFT Code : BOTKJPJT

(注 3) **【外部テストスコア票の提出方法】** (化学・生物化学コース、情報科学コース共通)

TOEIC テストのスコアは、TOEIC 公開テスト (Listening & Reading Test) のスコアのみ、有効とします。公式認定証 “Official Score Certificate” の原本 (写真貼付) とコピーを提出してください。デジタル公式認定証 “Digital Official Score Certificate” の場合は A 4 判で印刷したものを提出してください。

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とします。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められません。ETS (Educational Testing Service) から本人宛に郵送された受験者用控えスコアレポート “Test Taker Score Report” の原本 (写真貼付) とコピーを提出してください。ウェブサイトよりダウンロード (印刷) したスコアシートは、受理しません。

直近の受験のため、出願時にスコア原本が間に合わなかった場合に限り、受験票の写し又は Online 上のスコアプリントを提出し、8 月入試に関しては 2024 年 7 月 26 日 (金) までに、2 月入試に関しては 2025 年 1 月 6 日 (月) までに、必ず各スコア原本とコピーを書留速達にて提出してください。

(注 4) 日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、日本語訳を添付すること。

## (2) 選考方法

数学コース（8月入試と2月入試では選考方法が異なるので注意してください。）

### 【8月入試】

試験日時 コース	2024年8月21日（水）	
数 学	一般・基礎教育科目（微積分・線形代数）	口 述 試 験
	9：30～11：30	13：00～
（配点）	100点	100点

### 【2月入試】

試験日時 コース	2025年2月3日（月）	
数 学	口 述 試 験	
	13：00～	
（配点）	A・B・C・D	

（注1）「数A・数B・数C」の区分に関する希望順位(1～3)を記入すること。

〔数A〕	教授	竹村 剛一	可積分系、特殊関数
	准教授	久保 隆徹	偏微分方程式論
	〃	千葉 優作	多変数複素関数論
	助教	篠田 万穂	力学系、エルゴード理論
〔数B〕	教授	横川 光司	代数幾何
	〃	萩田 真理子	離散数学
	助教	ツァン シンイー	群論、代数的整数論
〔数C〕	教授	下川 航也	位相幾何学
	准教授	戸田 正人	幾何解析
	〃	大場 清	位相幾何学
	講師	植木 潤	数論的位相幾何学

（注2）受験者は志望する指導教員と必ずあらかじめ連絡をとること。

コース担当教員については、理学専攻の「担当教員及び主な授業科目」一覧及び本学ホームページ  
(URL: <https://www.ao.ocha.ac.jp/information/kyouin/index.html>)を参照してください。

## 物理科学コース

試験日時 コース	2024年8月21日（水）	8月22日（木）
	2025年2月3日（月）	
物 理 科 学	基礎科目試験 (力学、電磁気学、物理数学、量子力学、熱・統計力学 の各分野から1問ずつ、計5問出題)	口 述 試 験
	9：30～12：30	8月入試 <2日目> 10：00～ 2月入試 13：30～
（配点）	5問各100点	A・B・C
	500点	

（注）受験者は志望する指導教員と必ずあらかじめ連絡をとること。

コース担当教員については、理学専攻の「担当教員及び主な授業科目」一覧及び本学ホームページ  
(URL: <https://www.ao.ocha.ac.jp/information/kyouin/index.html>)を参照してください。

## 化学・生物化学コース

試験日時 コース		2024年8月22日(木)
		2025年2月3日(月)
化学・ 生物化学	外国語試験	口述試験(注2)
	本学の指定する外部 テストの成績を利用	8月入試 13:30~ 2月入試 10:00~
(配点)	外部テストの成績を 75点満点に換算	300点

(注1) 受験者は志望する指導教員と必ずあらかじめ連絡をとること。

コース担当教員については、理学専攻の「担当教員及び主な授業科目」一覧及び本学ホームページ  
(URL: <https://www.ao.ocha.ac.jp/information/kyouin/index.html>)を参照してください。

(注2) 口述試験の中で、専門科目(化学)に関する内容も問う。また、卒業研究あるいはそれに相当するものの  
プレゼンテーション(8分程度、PCの利用可)。

## 情報科学コース

試験日時 コース		2024年8月21日(水)	8月22日(木)
		2025年2月3日(月)	
情報科学	外国語試験	基礎科目試験(注1)	口述試験(注2)
	本学の指定する外部 テストの成績を利用	9:30~12:00	8月入試 <1日目> 13:00~ <2日目> 10:00~ 2月入試 13:00~
(配点)	外部テストの成績を 50点満点に換算	200点	A・B・C・D

(注1) 基礎科目試験は、「数学基礎」、「情報基礎」の2科目必修。「数学基礎」「情報基礎」の内容は情報系  
学部1,2年生必修科目程度とする。

(注2) 口述試験の中で、専門科目に関する内容も問う。

(注3) 口述試験の時間割は試験1日目の昼休みまでに発表する。

(注4) 教員免許の「情報」「数学」専修免許状のどちらを取得できるかは、選択する指導教員により決まるの  
で、希望者は事前に確認しておくこと。

(注5) 受験者は志望する指導教員と必ずあらかじめ連絡をとること。

コース担当教員については、理学専攻の「担当教員及び主な授業科目」一覧及び本学ホームページ  
(URL: <https://www.ao.ocha.ac.jp/information/kyouin/index.html>)を参照してください。

VII. 担当教員及び主な授業科目

○各教員の連絡先等は、本学ホームページ

(URL : <https://www.ao.ocha.ac.jp/information/kyouin/index.html>) を参照してください。

比較社会文化学専攻

2024年6月1日現在

担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
<b>日本語日本文学コース Japanese Language and Literature</b>					
教授 浅田 徹	Prof.	ASADA Toru	日本中世文学特論	Japanese Literature in the Kamakura and Muromachi period, Advanced	日本中世文学、特に和歌
〃 谷口 幸代	Prof.	TANIGUCHI Sachiyo	日本近代文学特論	Modern Japanese Literature, Advanced	日本近代文学
准教授 松岡 智之	Associate Prof.	MATSUOKA Tomoyuki	日本中古文学特論	Japanese Literature in the Heian Period, Advanced	日本中古文学、特に物語文学
〃 竹村 明日香	Associate Prof.	TAKEMURA Asuka	日本語史演習	Japanese Phonology	日本語学、特に音韻史
〃 石井 久美子	Associate Prof.	ISHII Kumiko	現代日本語学演習	Japanese Lexicology	日本語学、特に語彙・表記
〃 藤川 玲満	Associate Prof.	FUJIKAWA Reman	日本近世文学特論	Japanese Literature in the Edo Period, Advanced	日本近世文学
〃 **土山 玄	Associate Prof.	TSUCHIYAMA Gen	計量文献学特論	Text Analytics	テキストアナリティクス、データサイエンス
助教 **加藤 夢三	Assistant Prof.	KATO Yumezo	日本現代文学特論	Contemporary Japanese Literature, Advanced	日本現代文学
<b>アジア言語文化学コース Asian Languages, Literatures, and Cultures</b>					
教授 *和田 英信	Prof.	WADA Hidenobu	東アジア比較言語文化論(古典)	Comparative Studies in East Asian Literature I	中国古典文学
〃 伊藤 さとみ	Prof.	ITO Satomi	中国言語表現論演習	Chinese Linguistics	現代中国語文法
准教授 橋本 陽介	Associate Prof.	HASHIMOTO Yosuke	近代中国語圏文学特論	Chinese Literature 3	中国現代文学
助教 **富 嘉吟	Assistant Prof.	FU Kagin	中国古典文献学	Classical Chinese Philology	中国古典文学
<b>英語圏・仏語圏言語文化学コース English and French Languages, Literatures, and Cultures</b>					
教授 野口 徹	Prof.	NOGUCHI Tohru	英語学特論(統語論)	Advanced Lectures in English Linguistics (Syntax)	文法理論(統語論・意味論)
〃 小松 祐子	Prof.	KOMATSU Sachiko	仏語圏比較文化論	Francophone Cultures	仏語圏言語文化論・フランス語教育学
〃 山腰 京子	Prof.	YAMAKOSHI Kyoko	英語学特論(第一言語習得)	Advanced Lectures in English Linguistics(First Language Acquisition)	第一言語習得(子供の母語の習得)
〃 高桑 晴子	Prof.	TAKAKUWA Haruko	英文学特論(批評研究)	Advanced Lectures in English Literature (Critical Theory)	19世紀のイギリス・アイルランド小説
准教授 デイヴィッド・アレン	Associate Prof.	ALLEN David Brian	第二言語習得論研究	Second Language Acquisition	第二言語習得・テスト理論
〃 田中 琢三	Associate Prof.	TANAKA Takuzo	近代仏文学特論	Modern French Literature, Advanced	フランス近代文学
〃 **前田 佳一	Associate Prof.	MAEDA Keiichi	独語圏文学演習	Seminar in German Literature	近現代ドイツ語圏文学
〃 **ロバート・ロウ	Associate Prof.	LOWE Robert James	英語教育方法論研究	Methodology of Teaching English as a Second Language	英語教育学、批判応用言語学
助教 **丸谷 徳嗣	Assistant Prof.	MARUTANI Atsushi	英語圏文学表象論	Literature and Representation	アメリカ南部文学、20世紀アメリカ文学
〃 **水野 輝之	Assistant Prof.	MIZUNO Teruyuki	英語学特論(意味論)	Advanced Lectures in English Linguistics (Semantics)	形式意味論・語用論
〃 **新居 達也	Assistant Prof.	NII Tatsuya	英語圏テキスト文化論	Advanced Lectures in English Text Culture	中世・初期近代英文学
<b>日本語教育コース Japanese as a Second Language Education</b>					
准教授 西川 朋美	Associate Prof.	NISHIKAWA Tomomi	言語学習論特論	Advanced Lectures in Language Learning Research	第二言語習得(子どもと大人)
講師 李 址遠	Lecturer	LEE Jiwon	社会言語学研究特論	Sociolinguistics Research, Advanced	言語人類学、社会言語学
〃 **王 一瓊	Lecturer	WANG Yiqiong	異文化間コミュニケーション特論	Lecture in Intercultural Communication	社会言語学、多文化共生論
助教 西坂 祥平	Assistant Prof.	NISHIZAKA Shohei	日本語教育学特論	Teaching Japanese as a Second Language, Advanced	日本語教育学
<b>思想文化学コース Philosophy</b>					
教授 宮下 聡子	Prof.	MIYASHITA Satoko	倫理学資料演習	Seminar on Ethical Thought	倫理と心理と宗教の接点を探る。ユングの思想研究を中心に
准教授 中野 裕孝	Associate Prof.	NAKANO Hiroataka	哲学特論	Philosophy	カントを中心とした西洋近代哲学
助教 **佐藤 有理	Assistant Prof.	SATO Yuri	科学哲学特論	Philosophy of Science	現代英米哲学と認知科学・AIの学際研究
〃 **長野 邦彦	Assistant Prof.	NAGANO Kunihiro	倫理思想史特論	Advanced Course of History of Ethical Thought	倫理学・日本倫理思想史
<b>歴史文化学コース History and Art History</b>					
教授 安成 英樹	Prof.	YASUNARI Hideki	西洋近世史特論	Advanced Studies on Early Modern European History	フランス国制史、近世ヨーロッパ史
〃 神田 由築	Prof.	KANDA Yutsumi	日本文化史特論	Advanced Studies on Japanese Cultural History	日本近世史、日本文化史
准教授 戸川 貴行	Associate Prof.	TOGAWA Takayuki	アジア政治文化特論	Advanced Studies on Asian Politics and Culture	中国史、魏晉南北朝史
〃 土谷 真紀	Associate Prof.	TSUCHIYA Maki	日本美術史特論	Advanced Studies on Japanese Art History	日本中世美術史
〃 大藪 海	Associate Prof.	OYABU Umi	日本政治経済史特論	Advanced Studies on Japanese Political and Economic History	日本中世史
〃 湯川 文彦	Associate Prof.	YUKAWA Fumihiko	歴史史料論	Advanced Studies on Historical Materials	日本近代史
〃 阿部 尚史	Associate Prof.	ABE Naofumi	比較アジア社会文化特論	Comparative Study of Societies and Cultures in Asia	西アジア史、近世・近代イラン史
〃 遠藤 みどり	Associate Prof.	ENDO Midori	日本社会史演習	Seminar: Japanese Social History	日本古代史
〃 **埋忠 美沙	Associate Prof.	UMETADA Misa	伝統芸能文化研究	Japanese Traditional Performing Arts	日本近世・近代演劇 特に歌舞伎
<b>生活文化学コース Cultural and Historical Studies</b>					
教授 宮内 貴久	Prof.	MIYAUCHI Takahisa	民俗文化論特論	Special Lecture for Cultural Study of Folk	民俗学、文化人類学
〃 鈴木 禎宏	Prof.	SUZUKI Sadahiro	比較文化特論	Comparative Study of Culture	日英近代文化史(工芸を中心として)
准教授 新實 五穂	Associate Prof.	NIIMI Iho	西洋服飾文化論	Cultural Study of Western Costume	西洋服飾論
〃 難波 知子	Associate Prof.	NAMBA Tomoko	日本服飾文化論	Cultural Study of Japanese Costume	日本服飾史、学校制服史
<b>舞踊・表現行動学コース Dance</b>					
教授 新名 謙二	Prof.	NIINA Kenji	スポーツマネジメント特論	Advanced Theory on Sport Management	スポーツマネジメント
〃 水村 真由美	Prof.	MIZUMURA Mayumi	表現行動科学実験演習	Practice on Behavioristics for Expression Movement	身体運動科学(運動生理学・バイオメカニクス)
准教授 中村 美奈子	Associate Prof.	NAKAMURA Minako	民族舞踊学特論	Advanced Theory of Dance Ethnology	民族舞踊の動作分析法および記譜法の研究
〃 岡 千春	Associate Prof.	OKA Chiharu	舞踊表現学特論	Advanced Theory of Dance Expression	舞踊教育学・舞踊表現学
助教 福本 まあや	Assistant Prof.	FUKUMOTO Maaya	舞踊芸術学特論	Advanced Theory of Dance and the Arts	舞踊学・舞踊芸術学・ソマティクス
<b>音楽表現学コース Music</b>					
教授 小坂 圭太	Prof.	KOSAKA Keita	ピアノ演奏学特論(近代)	Piano Performance Special Studies (Modern)	ピアノ演奏法
〃 井上 登喜子	Prof.	INOUE Tokiko	音楽文化史研究	Cultural History of Music	音楽学、音楽文化史(近代)、実証音楽学
助教 **浅井 佑太	Assistant Prof.	ASAI Yuta	音楽学特論	New Perspectives of Musicology	音楽学、音楽文献学および楽曲分析

(注) \*印の教員は、2026年3月31日付で定年退職予定である。また、\*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない。

なお、2025年3月31日付で定年退職予定の教員は記載されていない。

人間発達科学専攻

2024年6月1日現在

担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
<b>教育科学コース Educational Science</b>					
教授 池田 全之	Prof.	IKEDA Takeyuki	教育思想特論	Special Topics in Educational Thought	ドイツを中心とした人間形成論史研究
〃 浜野 隆	Prof.	HAMANO Takashi	教育開発論特論(理論)	Theory of Educational Development	教育開発論、国際教育協力論、比較教育
〃 富士原 紀絵	Prof.	FUJIWARA Kie	教育方法学(理論)	Study of educational methodology and curriculum	教育課程・教育方法に関する研究
〃 大多和 直樹	Prof.	OTAWA Naoki	教育社会学	Sociology of Education	中等教育研究、生徒文化論、メディアと教育
講師 **武藤 世良	Lecturer	MUTO Sera	教育心理学(理論)	Theory of Educational Psychology	教育心理学、発達心理学、感情心理学
助教 **齊藤 彩	Assistant Prof.	SAITO Aya	特別支援教育特論	Advanced Topics in Special Needs Education	特別支援教育、障害児教育、障害児心理学
〃 **渡邊 真之	Assistant Prof.	WATANABE Masayuki	近代教育史	History of Education Before World War II	教育史
<b>心理学コース Psychology</b>					
教授 坂元 章	Prof.	SAKAMOTO Akira	社会心理学特論(理論)	Social Psychology (Theory)	社会心理学。メディアの影響など
〃 大森 美香	Prof.	OMORI Mika	健康心理学特論	Current Issues in Health Psychology	臨床心理学。特に健康心理学
〃 上原 泉	Prof.	UEHARA Izumi	発達心理学特論	Advanced Developmental Psychology	発達心理学、認知心理学
准教授 伊藤 大幸	Associate Prof.	ITO Hiroyuki	人格発達論	Theory and Method of Personality Development	教育心理学、発達心理学、心理計量学
〃 今泉 修	Associate Prof.	IMAIZUMI Shu	認知科学基礎論	Cognitive Science	認知心理学、実験心理学
<b>発達臨床心理学コース Developmental and Clinical Psychology</b>					
教授 石丸 径一郎	Prof.	ISHIMARU Keiichiro	認知・行動心理学特論	Cognitive and Behavioral Psychology	臨床心理学。LGBTQ、認知行動療法
〃 山田 美穂	Prof.	YAMADA Miho	障害臨床心理学特論	Clinical Psychology of Developmental Disabilities	臨床心理学。身体的心理療法、援助者養成教育
准教授 高橋 哲	Associate Prof.	TAKAHASHI Masaru	臨床心理学特論 I	Clinical Psychology I	臨床心理学。犯罪心理学、心理査定
〃 平野 真理	Associate Prof.	HIRANO Mari	臨床心理学特論 II	Clinical Psychology II	臨床心理学。パーソナリティ心理学
助教 砂川 芽吹	Assistant Prof.	SUNAGAWA Mebuki	発達臨床心理学特論	Topics in Developmental Clinical Psychology	臨床心理学。発達障害、心理的支援
<b>応用社会学コース Applied Sociology</b>					
教授 杉野 勇	Prof.	SUGINO Isamu	社会集団論	Studies in Social Groups	法社会学、理論社会学、社会調査法
准教授 **宝月 理恵	Associate Prof.	HOGETSU Rie	社会意識論	Social Consciousness	医療社会学、歴史社会学、近代家族論
助教 **三宅 雄大	Assistant Prof.	MIYAKE Yudai	社会政策論	Social Policy	社会政策、社会保障、福祉社会学
(教授 西村 純子)	Prof.	NISHIMURA Junko	家族社会学	Sociology of Family	家族と仕事の社会学
<b>保育・児童学コース Child Studies</b>					
教授 *小玉 亮子	Prof.	KODAMA Ryoko	比較教育文化特論	Comparative Study on Education and Culture I	比較教育文化論、子ども社会学
〃 刑部 育子	Prof.	GYOBU Ikuko	保育実践論特論	Early Childhood Care and Education: Theories of Practice I	幼児教育学、発達心理学
〃 西 隆太郎	Prof.	NISHI Ryutaro	保育学特論	Study on Early Childhood Care and Education I	子ども学、保育学、幼児教育学
講師 松島 のり子	Lecturer	MIYASHIMA Noriko	保育制度論特論	Social System of Early Childhood Education and Care I	保育制度・政策史、子どもの環境
助教 辻谷 真知子	Assistant Prof.	TSUJITANI Machiko	子ども発達論特論	Child Development I	発達心理学、幼児教育学

(注1) ( )は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。  
 (注2) \*印の教員は、2026年3月31日付けで定年退職予定である。また、\*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない。  
 なお、2025年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

ジェンダー社会科学専攻

2024年6月1日現在

担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 大森 正博	Prof.	OMORI Masahiro	消費者問題論	Health Economics, Public Economics and Industrial Organization	医療・介護、社会保障の経済分析
〃 小谷 眞男	Prof.	KOTANI Masao	生活法社会学論、トランス・サイエンス論	Society and Law	比較法社会学史、トランス・サイエンス論
〃 *小林 誠	Prof.	KOBAYASHI Makoto	グローバル政治経済論	Global Political Economy	グローバルイゼーションによる世界変容
〃 斎藤 悦子	Prof.	SAITO Etsuko	生活経済論	Household Economics, Family Resource Management	家事労働の社会化、企業の社会的責任
〃 申 瑛榮	Prof.	SHIN Ki-young	フェミニズム理論の争点、ジェンダー立法過程論	Issues in Feminist Theories, Gender & Politics	比較政治学、ジェンダーと政治
〃 宮澤 仁	Prof.	MIYAZAWA Hitoshi	地理情報論	Geographical Information	福祉の地理学、GIS、都市地理学
〃 西村 純子	Prof.	NISHIMURA Junko	家族関係論	Family Sociology	家族と仕事の社会学
准教授 荒木 美奈子	Associate Prof.	ARAKI Minako	開発研究実践論	Developmental Studies and Practices	開発研究、アフリカ地域研究
〃 大橋 史恵	Associate Prof.	OHASHI Fumie	ジェンダー社会学	Gender and Social Economics	東アジアにおける移動とジェンダー、再生産労働
〃 倉光 ミナ子	Associate Prof.	KURAMITSU Minako	社会地理学特論	Social and Cultural Geography	人文地理学、オセアニア地域研究
〃 **申 知燕	Associate Prof.	SHIN Jiyeon	地域経済論	Regional Economy	人文地理学、移民研究
〃 デ・アウカントラ・マルセロ	Associate Prof.	DE ALCANTARA Marcelo	法女性論	Family Law	家族法、生殖補助医療と法
〃 長谷川 直子	Associate Prof.	HASEGAWA Naoko	自然地理学特論	Physical Environment	自然地理学、地理の一般普及
〃 豊福 実紀	Associate Prof.	TOYOFUKU Miki	生活政治論	Politics and Society	政治学、公共政策
〃 脇田 彩	Associate Prof.	WAKITA Aya	生活福祉論	Human Life and Social Welfare	社会調査法、社会階層論
〃 キャロル・マイルズ	Associate Prof.	CARROLL Myles	現代政治経済論	Contemporary Political Economy	先進国における政治経済秩序と統括関係

(注) \*印の教員は、2026年3月31日付けで定年退職予定である。また、\*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない。  
 なお、2025年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

ライフサイエンス専攻

2024年6月1日現在

担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
<b>生命科学コース Biological Sciences</b>					
教授 植村 知博	Prof.	UEMURA Tomohiro	植物細胞生物学	Plant Cell Biology	植物オルガネラの動態と生理機能の研究
〃 *加藤 美砂子	Prof.	KATO Misako	植物相関生理学	Ecological Plant Physiology	藻類を含む光合成植物の代謝制御機構
〃 清本 正人	Prof.	KIYOMOTO Masato	海洋生物学特論	Marine Biology	海産動物の発生生物学、形態形成と細胞分化
〃 冨田 智	Prof.	SHIMADA Satoshi	植物系統進化学	Plant Systematics	多様性生物学-海洋植物の場合
〃 千葉 和義	Prof.	CHIBA Kazuyoshi	分子発生学	Molecular Biology of Development	細胞・発生生物学
〃 服田 昌之	Prof.	HATTA Masayuki	進化発生学特論	Evolutionary and Developmental Biology	サンゴを中心とした動物進化と生活史の研究
〃 *宮本 泰則	Prof.	MIYAMOTO Yasunori	分子細胞生物学(動物)	Animal Molecular and Cellular Biology	脳・神経系における分子細胞生物学的研究
〃 由良 敬	Prof.	YURA Kei	生命情報学特論	Special Lectures on Computational Biology	ゲノム・プロテオームの計算生物学研究
准教授 近藤 るみ	Associate Prof.	KONDO Rumi	集団遺伝学	Population Genetics	ショウジョウバエを用いた進化・多様性研究
〃 佐藤 敦子	Associate Prof.	SATO Atsuko	進化発生学特論	Environmental impact on development and evolution	発生・進化における環境の影響
講師 **岩崎 貴也	Lecturer	IWASAKI Takaya	植物保全生態学	Plant Conservation Ecology	陸上植物の多様性生物学・保全生態学
助教 **毛内 広	Assistant Prof.	MONAI Hiromu	細胞生理学	Cell Physiology	脳・神経組織の生理機能
<b>食品栄養科学コース Food and Nutritional Sciences</b>					
教授 森光 康次郎	Prof.	MORIMITSU Yasujiro	食品機能学特論	Advanced Chemistry for Food Phytochemicals	食品中の生理機能成分の化学構造と活性相関
〃 赤松 利恵	Prof.	AKAMATSU Rie	栄養教育学特論	Nutritional Education	行動科学を用いた栄養教育
〃 飯田 薫子	Prof.	IIDA Kaoruko	生活習慣病医学・疫学	Lifestyle Medicine	生活習慣病の栄養代謝機構
〃 須藤 紀子	Prof.	SUDO Noriko	公衆栄養学特論	Public Health Nutrition, Advanced	公衆栄養学
〃 市 育代	Prof.	ICHI Ikuyo	臨床栄養学特論	Clinical Nutrition	脂質の栄養学的研究
准教授 新田 陽子	Associate Prof.	NITTA Yoko	調理科学特論	Advanced Cookery Science	調理学、食品物性学、酵素学
〃 清水 誠	Associate Prof.	SHIMIZU Makoto	栄養化学特論	Nutritional Chemistry	代謝、運動に関する分子栄養学研究
講師 佐藤 瑠子	Lecturer	SATO Yoko	フードサービスマネジメント特論	Food Service Management	加熱調理・大量調理に関する予測的研究
〃 小林 正樹	Lecturer	KOBAYASHI Masaki	生体制御学特論	Biological Regulation	生体内栄養代謝の分子機構
助教 **野田 響子	Assistant Prof.	NODA Kyoko	食品加工貯蔵学特論	Food Processing and Preservation	食品の加工貯蔵に関する化学
<b>遺伝カウンセリングコース Genetic Counseling</b>					
教授 三宅 秀彦	Prof.	MIYAKE Hidehiko	臨床遺伝学特論	Clinical Genetics	臨床遺伝学、周産期学、遺伝カウンセリング学
講師 **佐々木 元子	Lecturer	SASAKI Motoko	遺伝カウンセリング学	Genetic Counseling	遺伝カウンセリング学、遺伝教育

(注) \*印の教員は、2026年3月31日付けで定年退職予定である。また、\*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない。

なお、2025年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

理学専攻

2024年6月1日現在

担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
<b>数学コース Mathematics</b>					
教授 横川 光司	Prof.	YOKOGAWA Koji	代数幾何学特論	Algebraic Geometry	代数幾何
〃 下川 航也	Prof.	SHIMOKAWA Koya	多様体構造特論	Theory of Manifolds	位相幾何学
〃 萩田 真理子	Prof.	HAGITA Mariko	代数構造特論	Algebraic Structures	組合せ論・暗号理論
〃 竹村 剛一	Prof.	TAKEMURA Kouichi	関数方程式特論	Functional Equation	可積分系、特殊関数
准教授 大場 清	Associate Prof.	OHBA Kiyoshi	幾何構造特論	Theory of Geometric Structures	位相幾何学
〃 戸田 正人	Associate Prof.	TODA Masahito	微分幾何学特論	Advanced Differential Geometry	幾何解析
〃 久保 隆徹	Associate Prof.	KUBO Takayuki	関数解析特論	Advanced Functional Analysis	偏微分方程式論
〃 千葉 優作	Associate Prof.	TIBA Yusaku	複素解析学特論	Complex Analysis in Several Variables	多変数複素関数論
講師 植木 潤	Lecturer	UEKI Jun	結び目と素数特論	Theory of knots and prime numbers	数論的位相幾何学
助教 篠田 万穂	Assistant Prof.	SHINODA Mao	確率解析特論	Stochastic Analysis	力学系、エルゴード理論
〃 **ツァン シンイー	Assistant Prof.	TSANG Sin Yi	群論特論	Advanced Group Theory	群論、代数的整数論
<b>物理科学コース Physics</b>					
教授 小林 功佳	Prof.	KOBAYASHI Katsuyoshi	表面物理特論	Advanced Surface Physics	表面物理学・ナノ構造の物理
〃 出口 哲生	Prof.	DEGUCHI Tetsuo	数理物理学特論	Topics in Mathematical Physics	数理物理・物性基礎論、高分子統計力学
〃 奥村 剛	Prof.	OKUMURA Ko	ソフトマター物理学特論	Advanced Soft Matter Physics	ソフトマター物理・化学物理
〃 古川 はづき	Prof.	FURUKAWA Hazuki	強相関電子特論	Advanced Strongly Correlated Electrons	強相関電子系の中性子散乱
〃 曹 基哲	Prof.	CHO Gi-Chol	場の理論特論	Advanced Field Theory	素粒子物理学理論
准教授 北島 佐知子	Associate Prof.	KITAJIMA Sachiko	量子物理学特論	Advanced Quantum Physics	量子情報・非平衡統計力学
〃 河野 能知	Associate Prof.	KONO Takanori	高エネルギー物理学特論	Advanced High Energy Physics	素粒子物理学実験
講師 **左右田 稔	Lecturer	SODA Minoru	磁性体特論	Advanced Magnetism	固体物性実験
〃 藤田 智弘	Lecturer	FUJITA Tomohiro	宇宙物理学特論	Advanced Cosmology	宇宙物理学
〃 **高橋 遼	Lecturer	TAKAHASHI Ryo	スピントロニクス	Spintronics	スピントロニクス
<b>化学・生物化学コース Chemistry and Biochemistry</b>					
教授 近藤 敏啓	Prof.	KONDO Toshihiro	電気化学特論	Electrochemistry	電気化学・ナノ界面化学・自己組織化
〃 *森 義仁	Prof.	MORI Yoshihito	非線形化学	Nonlinear Chemistry	リズム反応とパターン形成
〃 相川 京子	Prof.	AIKAWA Kyoko	糖鎖科学	Glycobiology	糖鎖生物学・細胞生化学・タンパク質科学
〃 棚谷 綾	Prof.	TANATANI Aya	超分子化学特論	Supramolecular Chemistry	医薬化学・有機構造化学
〃 矢島 知子	Prof.	YAJIMA Tomoko	有機反応化学	Organic Reaction Mechanism	立体選択的有機合成、含フッ素有機化合物の合成と応用
准教授 宮崎 充彦	Associate Prof.	MIYAZAKI Mitsuhiko	分子分光化学特論	Physical Chemistry and Spectroscopy	分子分光学・反応ダイナミクス
〃 近松 彰	Associate Prof.	CHIKAMATSU Akira	固体化学特論	Physical Chemistry of Solids	固体物理化学・固体反応化学・機能材料化学
〃 伊村 くらら	Associate Prof.	IMURA Clara	界面化学特論	Colloid and Interface	ナノ材料化学、機能性物質、コロイド・界面化学
〃 三宅 亮介	Associate Prof.	MIYAKE Ryosuke	錯体化学特論	Advanced Coordination Chemistry	錯体化学、生物無機化学
講師 **大金 賢司	Lecturer	OHGANE Kenji	ケミカルバイオロジー特論	Chemical Biology	ケミカルバイオロジー
〃 **桑原 拓也	Lecturer	KUWABARA Takuya	有機典型元素化学特論	Main Group Chemistry	有機典型元素化学・有機金属化学
助教 **黒木 菜保子	Assistant Prof.	KUROKI Nahoko	非平衡系化学	Theoretical Chemistry	理論化学、計算化学、溶液物理化学

理学専攻

2024年6月1日現在

担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
情報科学コース Computer Science					
教授 小口 正人	Prof.	OGUCHI Masato	コンピュータネットワーク特論	Advanced Computer Networks	ネットワークコンピューティング・ミドルウェア
// *浅本 紀子**	Prof.	ASAMOTO Noriko	数式処理特論	Advanced Formula Manipulation	離散数学・文書処理系
// 小林 一郎	Prof.	KOBAYASHI Ichiro	言語情報処理特論	Language Information Processing	言語情報処理、知能情報処理
// 伊藤 貴之	Prof.	ITOH Takayuki	ビジュアルコンピューティング特論	Advanced Topics in Visual Computing	情報可視化・マルチメディア
// 浅井 健一	Prof.	ASAI Kenichi	計算機言語特論	Advanced Lecture on Computer Language	プログラミング言語
// 戸次 大介	Prof.	BEKKI Daisuke	数理学特論	Advanced Course in Mathematical Science	数理言語学・計算言語学
// 工藤 和恵	Prof.	KUDO Kazue	数値解析特論	Advanced Numerical Method	数値計算・統計力学
准教授 五十嵐 悠紀	Associate Prof.	IGARASHI Yuki	ヒューマンインターフェース特論	Advanced Human Interface	ヒューマンコンピュータインタラクション・グラフィックス
// LE Hieu Hanh	Associate Prof.	LE Hieu Hanh	データベース特論	Advanced Database	データベース・データ工学
講師 Nathanael Aubert-Kato	Lecturer	Nathanael Aubert-Kato	非従来型計算特論	Advanced Unconventional Computing	DNAコンピューティング・最適化
// 長尾 篤樹	Lecturer	NAGAO Atsuki	アルゴリズム論特論	Advanced Theory of Algorithms	計算量理論・離散最適化
// 神山 翼	Lecturer	KOHYAMA Tsubasa	気象情報解析特論	Advanced Meteorological Data Analytics	気象学・物理気候学・大気海洋データ解析

(注) \*印の教員は、2026年3月31日付けで定年退職予定である。また、\*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない。

なお、2025年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

【参考】

生活工学共同専攻					
担当教員	Position	Name	主な授業科目	Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 太田 裕治	Prof.	OHTA Yuji	生活医用福祉工学	Life Engineering in Medical and Welfare Fields	福祉工学、医用工学、生活支援機器開発
// 大瀧 雅寛	Prof.	OTAKI Masahiro	環境工学特論	Environmental Engineering	環境工学、水処理技術、水中健康関連微生物
// 元岡 展久	Prof.	MOTOOKA Nobuhisa	建築意匠特論	Architectural Design	建築意匠・歴史学、建築設計論
// 長澤 夏子	Prof.	NAGASAWA Natsuko	建築環境計画特論	Architectural Environmental Plannings	建築計画、建築人間工学、健康住宅、環境心理
// 近藤 恵	Prof.	KONDO Megumi	人体計測学特論	Somatometry	自然人類学、人体計測学、文化財科学
准教授 河合 英徳	Associate Prof.	KAWAI Hidenori	居住空間環境学特論	Residential Space Environmental Science	建築環境工学、都市気候、風工学
// トリペッテ ジュリアン	Associate Prof.	TRIPETTE Julien	身体行動計測特論	Measurement of Physical Behaviour Theory	身体活動量評価、センシングテクノロジー
// 藤山 真美子	Associate Prof.	FUJIYAMA Mamiko	都市デザイン特論	Urban Design	都市・建築デザイン、デザイン工学
// 秋元 文	Associate Prof.	AKIMOTO Aya	生体材料工学討論	Biomaterials	生体材料工学、高分子材料工学
講師 土田 修平	Lecturer	TSUCHIDA Shuhei	システムデザイン特論	Special lecture of system design	情報工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機工学
助教 **雨宮 敏子	Assistant Prof.	AMEMIYA Toshiko	衣環境学特論	Clothing Environmental Science	衣服科学、生活機能材料

(注) \*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない。

# お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

各入試出願締切前日の15時までに操作してください

下記のコンビニ端末にてお支払いください

各入試の出願期間1カ月前より、お支払いいただけます。

## 1 お申込み

**セブン-イレブン**  
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>  
最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育  
↓  
入学検定料等支払

LAWSON  
**Loppi** MINISTOP  
**Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>  
<https://www.ministop.co.jp>  
最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン  
↓  
学び・教育・各種検定試験  
↓  
大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、  
**FamilyMart**  
マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>  
最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育  
↓  
学び・教育  
↓  
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

お茶の水女子大学 または お茶の水女子大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

## 2 お支払い

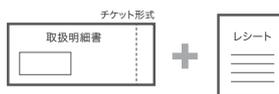
① **コンビニのレジ**でお支払いください。 端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi, マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払い**ください。

\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

②お支払い後**チケット**と**レシート**の2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。



(ファミリーマート)

②お支払い後**レシート(受領書)**をお受け取りください。



## 3 出願

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の「**収納証明書**」部分を切り取るか、または**受領書(レシート)**を願書裏面等の所定の位置に貼り付け、**出願書類**とともに郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 お茶の水女子大学 入試課 TEL 03-5978-5151(学部入試) TEL 03-5978-5697(大学院入試)  
(受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 \*土曜・日曜・祝日・年末年始を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

